



小名浜港大剣ふ頭
(いわき市)



宇多川
(相馬市)



「まちの駅やながわ春まつり」
の様子(R5.4.23)



吉間田滝根線・広瀬工区
(小野町・田村市・いわき市)



災害公営住宅
(双葉町)



都市計画道路
中央線外1線
(伊達市)

【第11版】 社会資本の ストック効果 事例集



千五沢ダム(石川町)



国道118号小沼崎バイパス
(下郷町)

令和7年3月

福島県

Fukushima Prefecture



ふくしま木造化木質化建築ガイドライン

ストック効果の最大化に向けた取組

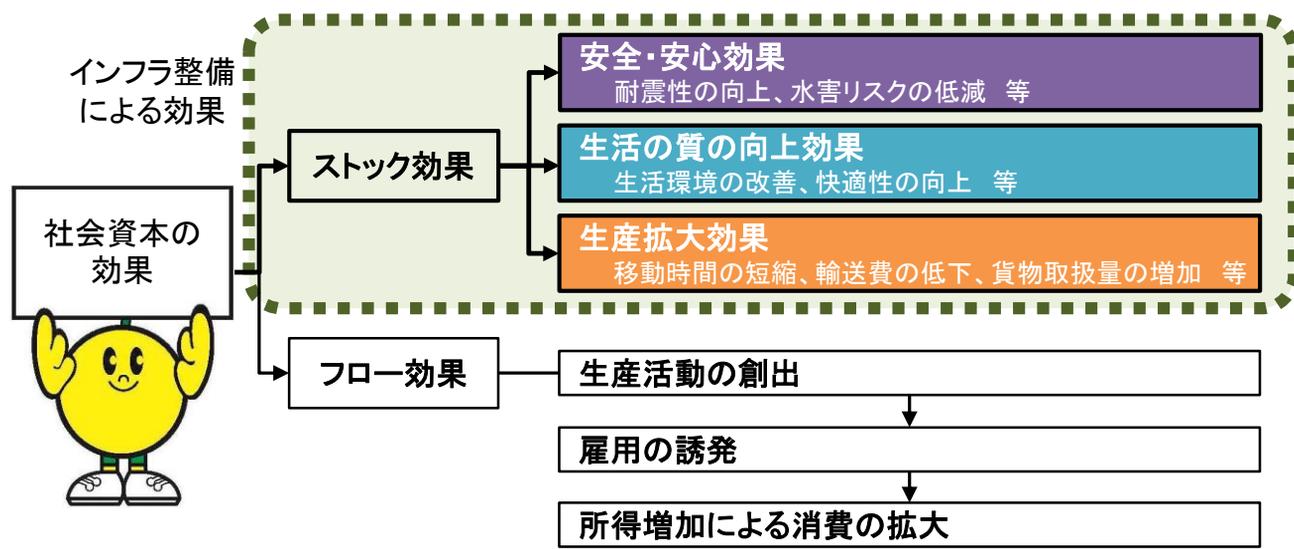
社会資本のストック効果の概要

整備された道路や河川などの**社会資本が機能して、効率性や生産性等が向上する効果**のこと。

長期にわたりその効果が発揮されるとともに、他の社会資本や民間開発等との相乗作用により、効果が広がる。

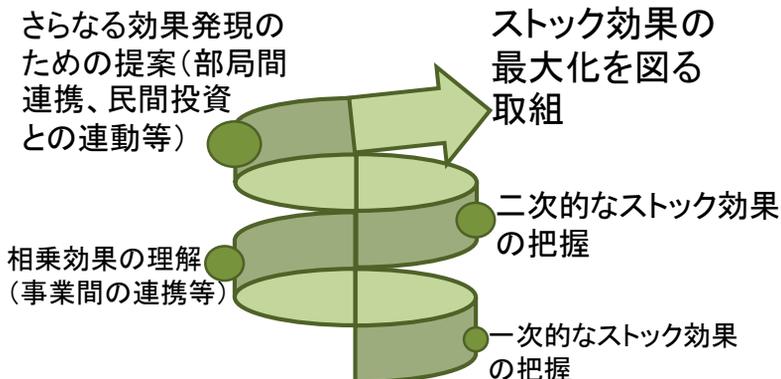
(例)

- ◆ 高速道路網の完成により、新たな観光ルートが形成され、経済の活性化に寄与する。
- ◆ 治水事業により水害リスクが低減されることで、土地利用の高度化が図られる。
- ◆ 従前から整備していた施設が効果を発揮し、豪雨災害の防止に繋がる。



＜ストック効果の最大化に向けて・・・＞

- 更なるストック効果を生み出していくため、計画や設計など早い段階からの対応（事業間の連携や民間投資との連動など）が必要となる。
- 県でも事例集の充実を図りながら、ストック効果の最大化に取り組んでいる。



【ストック効果の数値化への取組】

国は、これまでの事業評価手法であるB/C(費用対効果)に加え、**ストック効果の見える化(数値化)の検討を進めている。**

「間接的な効果の範囲をどこまで広げるか」「誰の視点で評価するのか」などの課題はあるが、整理できれば、**今後の事業評価において有効な手段となる。**

新たに発現したストック効果や、今後、ストック効果の発現が期待される事業箇所などの代表事例を紹介します。

- (1) 交流や物流の活性化を支援する道路の開通
- (2) 既存施設の老朽化対策
- (3) 台風や大雨に備え、防災効果を高める取組
- (4) カーボンニュートラルの実現に向けた取組

(1) 交流や物流の活性化を支援する道路の開通

○避難地域の復興・再生を支える「ふくしま復興再生道路」(P.13～15)

・道路幅員の狭小箇所や視距の不良区間の解消を図る。



アクセス性が向上！
広域的な交流や物流が活性化！



(2) 既存施設の老朽化対策

○必要な対策を適切な時期に、
着実かつ効率的・効果的に実施(P. 43)

- ・橋やトンネル、スノーシェッド
など、既存の施設を維持補修。



既存施設の長寿命化！



(3) 台風や大雨に備え、防災効果を高める取組

○令和5年9月に発生した台風13号豪雨における河川改修事業の効果(P.48)

- ・令和元年東日本台風を踏まえて、
河道掘削や伐木等を推進し、流下
断面を確保。



水位低減効果を発揮し、
外水氾濫の発生なし！



○危機管理型のハード整備(P.51)

- ・堤防天端を舗装し、粘り強い
構造の堤防に整備。



堤防への雨水の浸透を抑制！
越水時の侵食から堤防を保護！



(4)カーボンニュートラルの実現に向けた取組

○温室効果ガスの排出量を削減しながら、施設利用者の
快適性・生産性を向上(P.97～98)

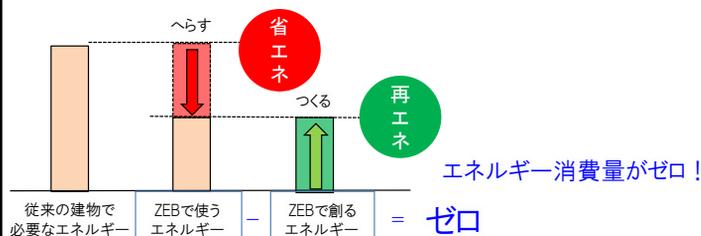
・2050年カーボンニュートラルを実現するために、ガイドラインを策定しています。

福島県ZEBガイドライン

建築分野におけるエネルギー消費量や温室効果ガス排出量を削減し、建築物のZEB化を促進

ふくしま木造化・木質化 建築ガイドライン

建築分野における木材利用を促進し、森林資源の循環利用に繋がります



木造とRC造の資材調達等におけるCO₂排出量比較 単位:t-CO₂

	500m ²		1,000m ²		1,500m ²		2,000m ²		2,500m ²		3,000m ²	
	木造	RC造	木造	RC造	木造	RC造	木造	RC造	木造	RC造	木造	RC造
3階建て	69	341	137	683	206	1,024	275	1,365	344	1,706	412	2,048
2階建て	96	538	191	892	287	1,337	330	1,586	413	1,983	496	2,379
1階建て	144	538	288	1,076	432	1,613	576	2,151	720	2,689	864	3,227



須賀川土木事務所(R2.3月竣工)



県立安積中学校(R7.1月竣工)

目次

復興まちづくり

<新地駅周辺地区（新地町）>	多重防御による防災力の高いまちづくりを実現	1
<原釜・尾浜地区（相馬市）>	多重防御による防災力の高いまちづくりを実現	3
<浅見川地区（広野町）>	多重防御による防災力の高いまちづくりを実現	5
<久之浜地区（いわき市）>	多重防御による防災力の高いまちづくりを実現	7
<四倉地区（いわき市）>	多重防御による防災力の高いまちづくりを実現	9
<薄磯・豊間地区（いわき市）>	多重防御による防災力の高いまちづくりを実現	11

生産拡大

<吉間田滝根線 広瀬工区（小野町・田村市・いわき市）>	避難地域の復興・再生を支える 「ふくしま復興再生道路」	13
<国道349号 大綱木工区（川俣町）>	避難地域の復興・再生を支える 「ふくしま復興再生道路」	14
<国道114号 山木屋工区（川俣町）>	避難地域の復興・再生を支える 「ふくしま復興再生道路」	15
<国道289号 田島バイパス（南会津町）>	交通混雑の緩和による中心市街地の活性化を支援	16
<国道294号 白河バイパス（白河市）>	観光振興や広域的な物流の活性化を支援	17
<国道349号 梁川バイパス（伊達市）>	広域的な交流や物流の活性化を支援	18
<林業アカデミーふくしま研修施設（郡山市）>	林業従事者の育成や技術力の向上を支援	19
<国道288号（野上小塚工区（大熊町）>	住民帰還の促進や広域的な交流・物流を支える ふくしま復興再生道路	20
<ふくしまインフラツーリズム推進事業（福島市）>	観光交流の拡大を通じてインフラへの理解促進を図る	21
<小野富岡線小白井工区（いわき市）>	ふくしま復興再生道路の整備により県中・相双地方の 物流やネットワークを強化	22
<道の駅なみえ、国道114号浪江拡幅2工区（浪江町）>	復興のシンボル施設やアクセス道路が地域住民の生活を支える	23
<あぶくま高原道路>	物流・生産活動を支える自動車専用道路 沿線に企業が進出、雇用を創出	24
<会津縦貫北道路>	会津地域を支える広域道路ネットワーク 高規格道路のミッシングリンクを解消	25
<県内10漁港>	浜通りの水産業の復興を支援	26
<相馬港（相馬市、新地町）>	福島・宮城・山形を包含した広域経済圏を支える海の玄関口の整備	28
<小名浜港（いわき市）>	国際バルク戦略港湾小名浜港を拠点とした 石炭海上輸送の効率化を推進	29
<小名浜港大剣ふ頭コンテナターミナル（いわき市）>	効率的なコンテナ貨物の荷役を実現	30
<小名浜道路（いわき市）>	小名浜港と常磐自動車道を直結し、 いわき地域の産業・観光振興に貢献	31
<国道399号十文字・戸渡工区（いわき市）>	地域医療や産業振興、広域的な物流を支えるふくしま復興再生道路	32
<会津縦貫南道路>	南会津地域を支える広域道路ネットワーク 高規格道路のミッシングリンクを解消	33
<日橋川十六橋水門（会津若松市・猪苗代町）>	歴史的建造物の保存と観光資源としての活用	34
<国道294号豊地工区（白河市）>	道路整備より物流の効率化や安全・安心な通勤・通学を支える	35

目次

安全・安心

<国道118号 小沼崎バイパス(下郷町)>	リダンダンシーを確保し災害に強い強靱な道路ネットワーク	36
<国道401号 博士峠(会津美里町・昭和村)>	リダンダンシーを確保し災害に強い強靱な道路ネットワーク	37
<国道252号 水沼工区(金山町)>	災害に強い道路整備により安全で円滑な交通を支える	38
<県道いわき石川線 才鉢工区(いわき市)>	自然災害に脆弱な道路のバイパス化により 緊急輸送路の通行を確保	39
<国道114号 堰守工区(浪江町)>	国土強靱化により道路の通行止めを未然に防止	40
<国道115号 中井塚工区(相馬市)>	落石対策により道路の通行止めを未然に防止	41
<国道118号 芦ノ原スノーシェッド(下郷町)>	既存施設の長寿命化と適切な維持管理による道づくり	42
<県道浪江鹿島線 北台木橋(南相馬市)>	既存施設の長寿命化と適切な維持管理による道づくり	43
<県道母畑白河線 木ノ内前工区(泉崎村)>	歩道整備により歩行空間を確保し、通学児童の安全性を向上	44
<県道中ノ内小高線 飯崎工区(南相馬市)>	側溝整備により排水機能を維持し、大雨時の冠水を未然に防止	45
<地藏川(新地町)>	東日本大震災からの復興津波の河川遡上から住民を守る	46
<夏井川(いわき市)>	台風13号豪雨における河川改修事業効果	47
<宇多川(相馬市)>	災害復旧助成事業の効果(台風13号)	48
<大森川(福島市)>	令和元年東日本台風以降の河川改修事業効果	49
<藤原川(いわき市)>	台風及び豪雨における河道掘削事業効果	50
<小高川(南相馬市)>	台風及び豪雨における堤防補強事業効果	51
<湯本川調整池(いわき市)>	台風13号豪雨における事業効果	52
<小玉ダム 木戸ダム(いわき市 檜葉町)>	台風13号豪雨におけるダムの洪水調節機能	53
<駒谷(いわき市)>	土砂災害から命や財産を守り、地域の安全・安心を確保	54
<東八川 砂防堰堤(福島市)>	土砂災害から命や財産を守り、地域の安全・安心を確保	55
<飯根沢砂防堰堤(西会津町)>	土砂災害から命や財産を守り、地域の安全・安心を確保!	56
<湯上沢砂防堰堤(喜多方市)>	土石流から命や財産を守り、地域の安全・安心を確保!	57
<二軒在家沢砂防堰堤(只見町)>	土石流から命や財産を守り、地域の安全・安心を確保!	58
<下川前地区(北塩原村)>	地すべりから命や財産を守り、地域の安全・安心を確保!	59
<国道118号 鳳坂工区(天栄村 下郷町)>	道路整備により冬期交通・救急医療と地域連携を支える	60
<上名倉飯坂伊達線医王寺橋(福島市)>	令和4年3月発生の福島県沖地震における 橋梁の耐震補強対策の効果	61
<松川浦漁港(相馬市)>	令和4年3月発生の福島県沖地震における 漁港の機能強化対策済み岸壁の効果	62
<広瀬川(伊達市)>	浸水被害から地域住民の安全・安心な暮らしを守る 【防災・減災、国土強靱化対策】	63
<濁川(福島市)>	浸水被害から地域住民の安全・安心な暮らしを守る 【令和元年東日本大雨からの復旧】	64
<谷田川(郡山市)>	浸水被害から地域住民の安全・安心な暮らしを守る 【防災・減災、国土強靱化対策】	65
<社川(白河市)>	浸水被害から地域住民の安全・安心な暮らしを守る 【令和元年東日本大雨からの復旧】	66
<湯川(会津若松市)>	浸水被害から地域住民の安全・安心な暮らしを守る 【防災・減災、国土強靱化対策】	67
<田付川(喜多方市)>	浸水被害から地域住民の安全・安心な暮らしを守る 【防災・減災、国土強靱化対策】	68

目次

<只見川（只見川沿川地域）>	平成23年7月新潟・福島豪雨からの復旧 洪水から地域の安全・安心を守る	69
<国道252号本名バイパス、只見川河川改修（金山町）>	河川改修と道路整備による 安全・安心の確保と奥会津地域の地域振興	70
<県道郡山湖南線三森工区（郡山市）>	道路整備により安全な通行と地域間交流・物流を支える	71
<逢瀬川河川改修、 新大窪橋（荒井郡山線）の架け替え（郡山市）>	浸水被害から地域住民の安全・安心な暮らしを守る	72
<道の駅猪苗代（猪苗代町）>	広域的な防災拠点としての役割を担う「道の駅」	73
<千五沢ダム（石川町）>	ダムの再開発により、洪水から地域を守る！	74
<県内9ダム>	ダムの事前放流により洪水調節機能を強化	75
<小高川（南相馬市）>	東日本大震災からの復興 津波の河川遡上から住民を守る！	76
<南右田地区海岸、烏崎地区海岸（南相馬市）>	津波浸水被害の軽減を図り、 沿岸域の水産利用や新たな産業を後押し	77
<福島空港>	東日本大震災時において救難救助の拠点として活用	78
<右支夏井川（小野町）>	河川改修による市街地の安全・安心と親水性を向上	79
◆防災・減災、国土強靱化のための対策事業◆		
<阿武隈川水系 鍛冶屋川（福島市）>	<阿武隈川水系 広瀬川（伊達市）>	80
<阿武隈川水系 油井川（二本松市）>	<阿武隈川水系 逢瀬川（郡山市）>	81
<阿武隈川水系 牧野川（田村市）>	<阿武隈川水系 釈迦堂川（天栄村）>	82
<阿武隈川水系 北須川（平田村）>	<阿武隈川水系 外面川（白河市）>	83
<久慈川水系 久慈川（棚倉町）>	<阿賀野川水系 宮川（会津美里町）>	84
<阿賀野川水系 三沢川（昭和村）>	<阿賀野川水系 田付川（喜多方市）>	85
<伊南川水系 館岩川（南会津町）>	<伊南川水系 伊南川（桧枝岐村）>	86
<新井田川水系 新井田川（南相馬市）>	<北迫川水系 北迫川（広野町）>	87
<藤原川水系 矢田川（いわき市）>	<鮫川水系 鮫川（いわき市）>	88

生活の質の向上

<都市計画道路 中央線外（伊達市）>	街路整備により伊達市梁川町の中心市街地の活性化に貢献	89
<花園さくらパーク（棚倉町）>	観光名所「花園しだれ桜」を訪れる方々の安全と快適のために	90
<（都）白河駅白坂線（白河市）>	メインストリートの整備による中心市街地の活性化に貢献	91
<（都）平磐城線小名浜工区（いわき市）>	県内有数の観光地小名浜のさらなる活性化に貢献	92
<蔵庭（ポケットパーク）（喜多方市）>	“くらにわ”が地域の賑わいをつなぎ蔵の街なみにゆとりとふくらみを創出！	93
<芦ノ牧温泉（会津若松市）>	ポケットパークのリニューアルによる温泉街の魅力向上！	94
<小川地区ポケットパーク整備（いわき市）>	道路工事で生まれる空気を地域の交流スペースとして活用！	95
<あづま総合運動公園（福島市）>	健康増進や癒し、豊かな暮らしを提供	96
<ZEBガイドライン>	カーボンニュートラルの実現に向けて県有建築物のZEB化を促進	97
<ふくしま木造化・木質化ガイドライン>	カーボンニュートラルの実現に向けて中大規模県有建築物等の木造化・ 木質化を促進	98
<災害公営住宅、 福島再生賃貸住宅の県代行整備（双葉町、大熊町）>	避難地域への住宅帰還の支援	99
<四時ダム（いわき市）>	民間活力を活用した既存ダムの水力発電により環境負荷を低減！	100
<勿来酒井団地（いわき市）>	原子力災害による避難者の生活の安定とコミュニティの形成を支援	101
<県営住宅内部改善事業>	県営住宅のリフォームによる長寿命化と居住性の向上	102

復興
まち

多重防御により防災力の高い まちづくりを実現



新地町新地駅周辺地区

(埼浜防災緑地、国道相馬亘理線、谷地小屋地区海岸、釣師浜漁港等)

復興まちづくりのイメージ



復興まちづくりの基本的視点

- ① 命と暮らし最優先のまち
- ② 人と絆を育むまち
- ③ 自然と共生する海のあるまち

【効果1】防災緑地の整備により東日本大震災時と同じ津波が発生しても、津波の勢いを弱め、逃げる時間を確保！レクリエーションや、自然とのふれあいの場としても活用！

【効果2】背後地において、土地区画整理事業により住宅用地を創出！

【効果3】埼浜防災緑地の背後地のJR新地駅周辺において新地町スマートコミュニティ事業(※)を展開！

(※)天然ガスや太陽光発電等の地産地消型エネルギーの利用を促進し、災害に強い持続可能なまちづくりを目指す取組



事業概要

事業種別	事業内容	事業期間	事業者
埤浜防災緑地	防災緑地 L=1,400m,A=25.3ha	H24~H30	相双建設事務所
釣師防災緑地	防災緑地 A=18.1ha	H24~H31	【参考】新地町
木崎地区海岸	海岸災害復旧 L=1,373m	H23~H29	相双建設事務所
埤浜地区漁港海岸	海岸災害復旧 L=546m	H23~H28	相馬港湾建設事務所
谷地小屋地区漁港海岸	海岸災害復旧 L=974m	H23~H29	相馬港湾建設事務所
大戸浜地区漁港海岸	海岸災害復旧 L=127m	H23~H28	相馬港湾建設事務所
釣師浜漁港	漁港災害復旧 N=32施設	H23~H30	相馬港湾建設事務所
三滝川	河川災害復旧 L=1,387m	H24~H28	相双建設事務所
砂子田川	河川改修 L=1,500m	H24~R2	相双建設事務所
濁川	河川災害復旧 L=1,247 m	H24~H27	相双建設事務所
県道相馬亙理線	道路築工(5橋含む) L=3,500m	H24~H30	相双建設事務所

【Topic1】JR常磐線新地駅が再開通！

JR常磐線(相馬一浜吉田間)が、平成28年12月10日に5年9ヶ月ぶり再開通しました。

東日本大震災によりホーム・跨線橋を残して流出した新地駅について、旧駅舎から約300m陸(西)側に移設された新駅舎で営業を再開しました。

震災から5年9ヶ月ぶりに相馬地方と仙台市が鉄道で結ばれ、住民の利便性が高まり、被災地の復興の加速につながりました。



【Topic2】釣師浜海水浴場が再開！

釣師浜海水浴場が、令和元年7月20日に東日本大震災による津波と東京電力福島第1原子力発電所事故の影響から9年ぶりに再開しました。

相双地域では、平成30年の原釜尾浜海水浴場に次いで2カ所目の再開となりました。



【参考】JR新地駅乗車人員の推移

1日平均乗車人員(人)



【Topic3】新地地方卸売市場が再開！

東日本大震災の津波で大きな被害を受けた釣師浜漁港で令和2年12月4日、新地地方卸売市場が約10年ぶりに再開しました。これまでの相馬市原釜の市場への陸送が解消され、水産業の活性化が期待されます。



復興
まち

多重防御により防災力の高い まちづくりを実現



相馬市原釜・尾浜地区

(原釜尾浜防災緑地、県道相馬亙理線、松川大洲地区海岸、松川浦漁港等)

復興まちづくりのイメージ



復興まちづくりの基本的視点

- ①観光産業に配慮したまちづくり
- ②新たな地域社会の再構築
- ③新たな災害から人命や財産を守る

【効果1】防災緑地の整備により東日本大震災時と同じ津波が発生しても、津波の勢いを弱め、逃げる時間を確保！レクリエーションや、自然とのふれあいの場としても活用！

【効果2】漁港の復旧により、水産業の復興を支援！



たこ水揚げの様子(原釜地区)



青のり出荷再開(原釜地区)(平成30年2月)



松川浦漁港復旧状況

【効果3】海岸や道路の復旧により、松川浦(県立自然公園)の景観を再生し、観光を支援！



被災時の状況
松川大洲地区海岸



復旧後



「みちのく潮風トレイル」ウォーキング
(平成30年9月16日)

事業概要

事業種別	事業内容	事業期間	事業者
原釜尾浜防災緑地	防災緑地 L=1,600m,A=13.7ha	H24～R2	相双建設事務所
大浜地区海岸	海岸災害復旧 L=5,213.1m	H23～H29	相双建設事務所
松川大洲地区漁港海岸	海岸災害復旧 L=1,639.0m	H23～H30	相馬港湾建設事務所
尾浜地区漁港海岸	海岸災害復旧 L=387m(無堤区間59m含む)	H23～H29	相馬港湾建設事務所
原釜地区港湾海岸	海岸災害復旧 L=1,630m(無堤区間299m含む)	H23～H30	相馬港湾建設事務所
松川浦漁港	漁港災害復旧 N=74施設	H23～H31	相馬港湾建設事務所
小泉川	河川災害復旧 L=1,000m	H23～H28	相双建設事務所
宇多川	河川災害復旧 L=1,500m	H23～H29	相双建設事務所
県道相馬亙理線	道路改築工 L=2,000m	H24～H31	相双建設事務所

【Topic1】相馬復興サイクリング大会が開催！

平成30年9月30日に「第1回相馬復興サイクリング大会」が開催されました。津波により道路が被災し、7年間通ることができなかった海沿いの「大洲松川線」が復旧したことにより、コースの一部となりました。



第1回の様子(H30.9)



第2回の様子(R1.5)

【Topic2】原釜尾浜海水浴場が再開！

原釜尾浜海水浴場が、平成30年7月21日に東日本大震災による津波と東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から8年ぶりに再開しました。



原釜尾浜海水浴場再開(H30.7)

【Topic3】約6年ぶりに松川大橋のライトアップが再開！

東日本大震災の津波で流出した照明装置が復旧した松川浦大橋で、平成29年4月15日にライトアップが再開し、通行も可能となりました。



約6年ぶりに点灯した松川浦大橋ライトアップ(H29.4)

【参考】松川浦漁港の陸揚量の推移



【Topic4】浜のサムライワールドin松川浦が開催！

東北中央自動車道「相馬福島道路」の霊山ICー相馬玉野IC間の開通を記念して、平成30年3月25日に開催し、県内外から1万人以上が訪れました。



浜のサムライワールドin松川浦(鶴ノ尾岬地区)(H30.3)

復興
まち

多重防御により防災力の高い まちづくりを実現



広野町浅見川地区

(ひろの防災緑地、県道広野小高線、下北迫地区海岸、北迫川、浅見川等)

復興まちづくりのイメージ



復興計画(第二次)の基本方針

- ・誰もが安心して暮らせるまちづくり
- ・災害に強い都市基盤と心のネットワークによる安・安全なまちづくり
- ・21世紀の世界を担う新たな産業創出による賑わいのあるまちづくり
- ・双葉地域の復興を担うまちづくり

【効果1】防災緑地の整備により東日本大震災時と同じ津波が発生しても、津波の勢いを弱め、逃げる時間を確保！レクリエーションや、自然とのふれあいの場としても活用！

【効果2】ひろの防災緑地の背後地のJR広野駅周辺において、広野町駅東側開発整備事業が展開！



【効果3】ひろの防災緑地の背後地において、商業施設や学校施設などが開設！



事業概要

事業種別	事業内容	事業期間	事業者
ひろの防災緑地	防災緑地 L=2,000m,A=9.4ha	H23~H29	富岡土木事務所
下北迫地区海岸	海岸災害復旧 L=1,536m	H24~H30	富岡土木事務所
北迫川	河川災害復旧 L=631m	H25~R元	富岡土木事務所
浅見川	河川災害復旧 L=640 m	H25~H28	富岡土木事務所
県道広野小高線	道路改築工(北釜橋含む) L= 1,690m	H24~H28	富岡土木事務所

【Topic1】ひろの防災緑地植樹祭を開催！

平成28年3月5日にひろの防災緑地植樹祭が開催され、約700人が参加し、苗木約5,000本を植樹しました。



ひろの防災緑地植樹祭(H28.3)

【Topic2】ひろの健康ウォークを開催！

平成28年10月30日にひろの健康ウォークが開催され、供用されたひろの防災緑地や県道広野小高線広野工区のお披露目もかねて約250人が参加しました。



ひろの健康ウォーク(H28.10)

【参考1】広野駅東側開発整備事業による土地利用の進展



● 広野駅東側開発整備事業(第1期)

- H28.1 広野みらいオフィス開業
- H29.5 馬場医院、広野薬局移転開業
- H29.9 集合住宅10棟114戸竣工
- H30.3 駅東口広場整備竣工
- H30.10 ホテル(ハタゴイン福島広野)開業

● 広野駅東側開発整備事業(第2期)

- R2～ 戸建て住宅用地宅地造成着手

【参考2】JR広野駅乗降者数の推移



■ 整備のイメージ図

復興
まち

多重防御により防災力の高い まちづくりを実現



いわき市久之浜地区

(久之浜防災緑地、県道久之浜港線、久之浜地区海岸、久之浜浦漁港等)

復興まちづくりのイメージ



復興まちづくりの基本的視点

- ①災害に強い地域づくり
- ②観光等地方産業の復興
- ③水辺、自然環境を活かした地区の復興

【効果1】防災緑地の整備により東日本大震災時と同じ津波が発生しても、津波の勢いを弱め、逃げる時間を確保！レクリエーションや、自然とのふれあいの場としても活用！

【効果2】久之浜防災緑地の背後地において、土地区画整理事業により住宅用地を創出！



【効果3】久之浜防災緑地の背後地にコミュニティ商業施設や市防災拠点施設がオープン！



事業概要

事業種別	事業内容	事業期間	事業者
久之浜防災緑地	防災緑地 L=1,300m,A=11.2ha	H24~H31	いわき建設事務所
久之浜地区海岸	海岸災害復旧 L=2,124m	H24~H30	いわき建設事務所
久之浜漁港海岸,久之浜地区海岸	海岸災害復旧 L=46m	H25~H28	小名浜港湾建設事務所
久之浜漁港	漁港災害復旧	H23~H28	小名浜港湾建設事務所
久之浜港	港湾災害復旧	H23~H29	小名浜港湾建設事務所
大久川	河川災害復旧 L=267m	H26~H29	いわき建設事務所
県道久之浜港線	道路改築工(陰磯橋含む) L=641m	H24~H29	いわき建設事務所

【Topic1】久之浜魚市場が8年半ぶりに再開！

東日本大震災と原発事故の影響で休止していたいわき市漁港の久之浜市場が、令和元年9月2日、8年半ぶりに再開し、浜には威勢のいい声が響き、活気が戻りました。



久之浜魚市場再開(R元.9)

【Topic2】コミュニティ商業施設「浜風きらら」がオープン！

東日本大震災から約半年後に久之浜第一小学校敷地内に仮設店舗としてオープンした「浜風商店街」を経て、「1日も早い久之浜の復興を！久之浜に1人でも多くの笑顔を!!」の気持ちをそのままに、コミュニティ商業施設「浜風きらら」が平成29年4月20日にオープンいたしました。

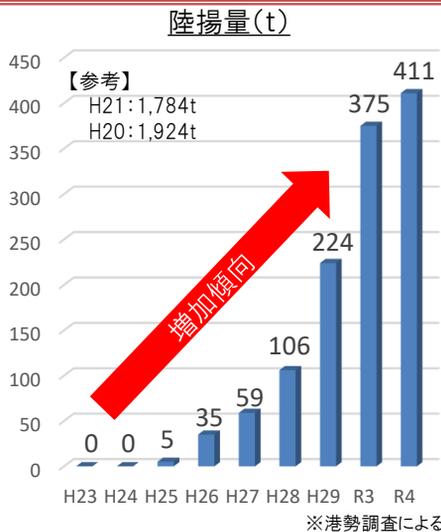


浜風商店街(H23~H29)



コミュニティ商業施設「浜風きらら」オープン(H29.4)

【参考1】久之浜漁港の陸揚量の推移



令和3年12月18日、久之浜魚市場で「いわき市漁協 朝市 in 久之浜」が開催されました。常盤ものの鮮魚詰め放題に朝から大行列ができるなど、漁港周辺は大いに賑わいました。

復興
まち

多重防御により防災力の高い まちづくりを実現



いわき市四倉地区

(四倉防災緑地、県道豊間四倉線、仁井田地区海岸、四倉漁港等)

復興まちづくりのイメージ



復興まちづくりの基本的視点

- ①災害に強い地域づくり
- ②「道の駅よつら港」を復興シンボルとした再生
- ③海浜レクリエーション地域の整備

【効果1】防災緑地の整備により東日本大震災時と同じ津波が発生しても、津波の勢いを弱め、逃げる時間を確保！レクリエーションや、自然とのふれあいの場としても活用！

【効果2】四倉漁港の背後地において、復興のシンボルとして「道の駅よつら港」が再生！



「道の駅よつら港」の被災状況



【効果3】JR四ツ倉駅西側において、被災者向けの住宅を供給！



復興公営住宅(四ツ倉団地)



災害公営住宅(四ツ倉団地)

事業概要

事業種別	事業内容	事業期間	事業者
四倉防災緑地	防災緑地 L=1,500m,A=4.9ha	H24~H30	いわき建設事務所
仁井田地区海岸	海岸災害復旧等 L=3,108m 離岸堤 L=700m	H24~H29	いわき建設事務所
四倉漁港海岸	海岸災害復旧等 L=2,333m 離岸堤、樋門等	H24~H30	小名浜港湾建設事務所
四倉漁港	漁港災害復旧等 漁港内施設(防波堤、物揚場等)	H23~H30	小名浜港湾建設事務所
仁井田川	河川災害復旧 L=834m	H25~H28	いわき建設事務所
県道豊間四倉線	道路改築工(東舞子橋含む) L=938m	H24~H31	いわき建設事務所

【Topic1】道の駅よつくらが防災機能を強化し再オープン！

平成24年8月11日に「道の駅よつくら港交流館」の新館が完成しました。同館は、平成23年4月には被災した建物一部を利用し営業を再開し、平成24年1月には仮設大型 TENT を構え、仮営業していましたが、防災機能を強化して再オープンしました。



道の駅よつくら港の再オープン(H24.8)

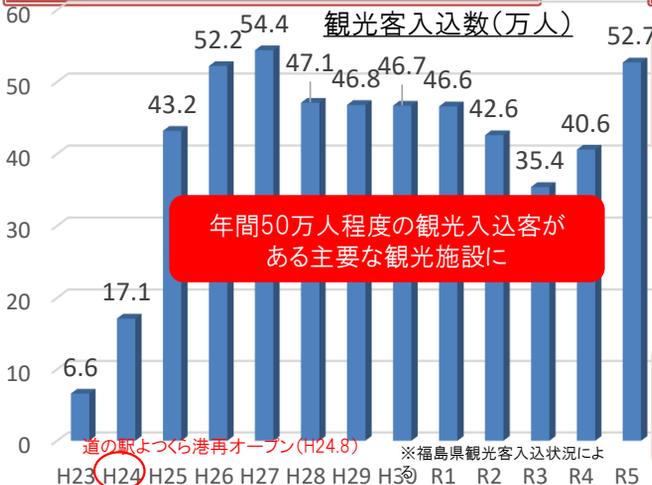
【Topic2】四倉海水浴場が再開！

四倉海水浴場が、平成25年7月15日に東日本大震災による津波と東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から3年ぶりに再開しました。



四倉海水浴場の再開(H25.7)

【参考1】道の駅よつくら港の観光客入込数



年間50万人程度の観光入込客がある主要な観光施設に

【参考2】復興まちづくり完成後の地元の声

《四倉ふれあい会議会長》

防災緑地が憩いの場となり、将来四倉地区の財産となり、魅力的な町となることを期待しています。

《四倉町区長会会長》

復興まちづくりが完了したことで、再建された方も定着して安心して生活ができるようになります。

《上仁井田仲・岸区長》

震災時に防災林がとても効果的であったので、防災緑地の将来の防災機能にとても期待しています。

復興
まち

多重防御により防災力の高い まちづくりを実現



薄磯地区



いわき市薄磯、豊間地区 (薄磯防災緑地、豊間防災緑地、県道豊間四倉線、薄磯地区海岸等)

復興まちづくりのイメージ



復興まちづくりの基本的視点

- ① 快適な市街地の再生
- ② 観光振興、生活利便性の向上
- ③ 災害に強い市街地の形成

【効果1】防災緑地の整備により東日本大震災時と同じ津波が発生しても、津波の勢いを弱め、逃げる時間を確保！レクリエーションや、自然とのふれあいの場としても活用！

【効果2】薄磯及び豊間防災緑地の背後地において、土地区画整理事業により住宅用地を創出！

【効果3】薄磯及び豊間防災緑地の背後地の高台において、被災者向け住宅を供給！



戸建て住宅(薄磯地区)



戸建て住宅(豊間地区)



災害公営住宅(平地区薄磯)



災害公営住宅(平地区豊間)

事業概要

薄磯地区

事業種別	事業内容	事業期間	事業者
薄磯防災緑地	防災緑地 L=1,000m,A=4.6ha	H24~H29	いわき建設事務所
豊間漁港海岸、薄磯地区海岸	海岸災害復旧 L=1,115m	H23~H29	小名浜港湾建設事務所
豊間漁港(薄磯地区)	漁港災害復旧	H23~H25	小名浜港湾建設事務所
県道豊間四倉線	道路改築工 L=1,288m	H24~H29	いわき建設事務所

豊間地区

事業種別	事業内容	事業期間	事業者
豊間防災緑地	防災緑地 L=2,400m,A=12.8ha	H24~H30	いわき建設事務所
豊間地区海岸	海岸災害復旧 L=968m	H25~H27	いわき建設事務所
豊間漁港海岸、豊間地区海岸	海岸災害復旧 L=1,018m	H23~H30	小名浜港湾建設事務所
諏訪川	河川災害復旧 L=453m	H26~H28	いわき建設事務所
県道豊間四倉線	道路改築工(諏訪橋含む) L=1,650m	H24~H30	いわき建設事務所

【Topic1】薄磯海水浴場が再開しました！

震災前の平成22年には26万人以上訪れていた薄磯海水浴場は、東日本大震災の津波で大きな甚大な被害を受け、再開を見送っておりましたが、大規模な復旧・復興工事が完了したことにより、平成29年7月15日にいわき市内3カ所目の海水浴場として再開しました。



薄磯海水浴場再開(H29.7)

【Topic2】復興商店街「とよマルシェ」がオープン！

復興商店街「とよマルシェ」は、平成26年10月の津波被災者向け平豊間災害公営住宅(192戸)の完成により、商店や飲食店の再開が期待されたことから、中小企業基盤整備機構が実施する仮施設設置整備事業を活用して地域の生活を支えるため整備され、平成27年1月15日にグランドオープンしました。



復興商店街「とよマルシェ」オープン(H27.1)

【Topic3】「いわき震災伝承みらい館」が開館！

「いわき震災伝承みらい館」は、令和2年5月、薄磯防災緑地の背後地に開館しました。

震災関連資料の保存や展示、語り部の講話などにより、震災の記憶や教訓を伝承していくとともに、いわき市内各地の復興まちづくりに関する取組等を支援する施設としてオープンしました。



いわき震災伝承みらい館(令和2年5月開館)
出典:(一社)いわき観光まちづくりビューローHP

生産
拡大

避難地域の復興・再生を支える 「ふくしま復興再生道路」



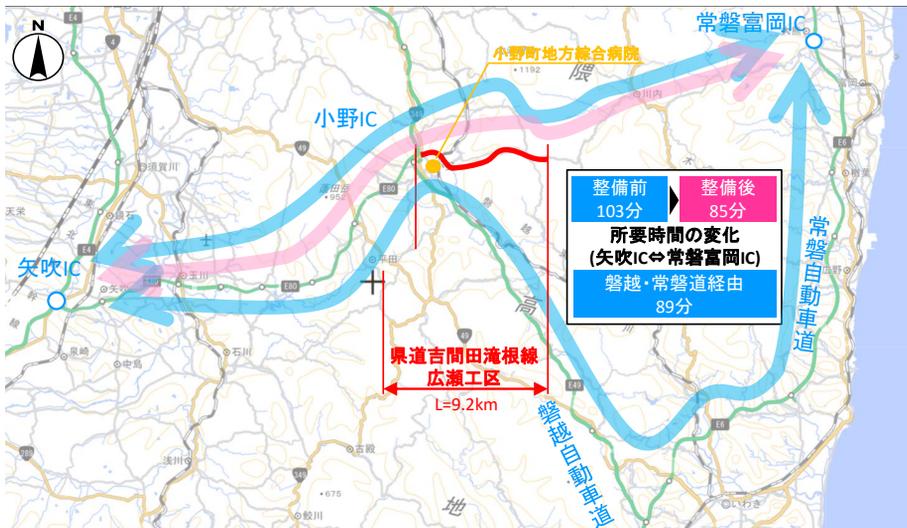
県道吉間田滝根線 広瀬工区 (小野町・田村市・いわき市) 【令和6年4月開通】

至 平田IC

上空より吉間田滝根線広瀬工区(小野IC)を望む

【効果1】道路幅員の狭小区間や視距の不良区間を解消し、広域的な交流や物流を支える

■ 現道の矢大臣山前後の急峻で狭隘な区間や、小野町中心市街地の急カーブや狭隘区間に伴う大型車通行規制区間を解消することで、大型車が安全に通行できるようになり、相双地域と県中・県南地域を結ぶ広域的な物流道路網として機能する。



整備前 103分 → 整備後 85分
所要時間の変化
(矢吹IC⇄常磐富岡IC)
磐越・常磐道経由 89分



【効果2】公立小野町地方総合病院への良好なアクセスの形成による医療・福祉の確保

- ・ 現道の狭隘区間を回避することで、川内村から小野町地方総合病院までの搬送時間を8分短縮
- ・ 日常的な通院や安静搬送による患者の負担軽減

<救急搬送時間>	整備前	整備後	短縮効果
	34分	26分	8分短縮

【富岡消防署川内出張所】

- ◆ 吉間田滝根線開通により、搬送時間が大幅に短縮されるとともに、患者の負担軽減にも繋がっています。
- ◆ 小野富岡線についても、早期の完成を待ち望んでいます。



生産
拡大

避難地域の復興・再生を支える ふくしま復興再生道路



国道349号 大綱木工区(川俣町) 【令和5年3月完成】



△令和5年3月21日 完成式

【効果1】産業の再生や観光の振興、生活環境の再生を支える

■川俣町は、震災以降、山木屋地区復興拠点商業施設「とんやの郷」や西部工業団地の整備、新たな特産品アンズリウムのブランド化など復興・再生に向けた取組を進めている。また復興公営住宅の整備や山木屋診療所の再開など生活環境の再生にも取り組んでいる。

本事業は、これらの取組を大きく後押し、産業の再生や観光の振興、生活環境の再生を支援する。



山木屋地区復興拠点商業施設「とんやの郷」
出典：とんやの郷HP



川俣アンズリウム
出典：川俣町HP



川俣西部工業団地
出典：川俣町HP

【効果2】道路幅員の狭小区間や視距の不良区間を解消し、広域的な交流や物流を支える

■道路幅員の狭小区間や視距不良区間の解消により、通過時間を約2.7分短縮することで、県中地域と県北地域を結ぶアクセスが向上し、広域的な交流や物流の活性化を支援する。



整備前



整備後

生産
拡大

避難地域の復興・再生を支える 「ふくしま復興再生道路」



国道114号 山木屋工区 (川俣町)



▲令和5年3月21日 完成式

【効果1】 道路幅員の狭小区間や視距の不良区間を解消し、広域的な交流や物流を支える

■ 道路幅員の狭小区間や視距の不良区間を解消することで、相双地域と県北地域を結ぶ **アクセス性が向上**し、広域的な交流や物流の活性化を支援する。

【before】整備前



道路の幅が狭い

【after】整備後



通行がスムーズに

【効果2】 産業の再生や観光の振興、生活環境の再生を支える

■ 川俣町は、震災以降、山木屋地区復興拠点商業施設「とんやの郷」や西部工業団地の整備、新たな特産品アンズリウムのブランド化など復興・再生に向けた取組を進めている。

また、復興公営住宅の整備や山木屋診療所の再開など生活環境の再生にも取り組んでいる。

本事業は、これらの取組を大きく後押し、**産業の再生**や**観光の振興**、**生活環境の再生**を支援する。



山木屋地区復興拠点商業施設「とんやの郷」
出典：とんやの郷HP



川俣アンズリウム
出典：川俣町HP



川俣西部工業団地
出典：川俣町HP

生産
拡大

交通混雑の緩和による 中心市街地の活性化を支援



【before】整備前



【after】整備後

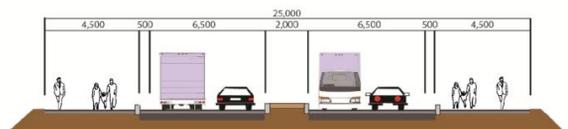


【効果1】中心市街地の4車線化による交通混雑の緩和

- 4車線化のバイパス整備により、通過交通が現道からバイパスへ転換し、交通混雑の緩和が図られる。
- 中心市街地の渋滞が緩和され、**まちなかの活性化**が期待される。
- 会津縦貫南道路の**下郷田島バイパスの開通後**には、交通量増加が見込まれることから、**更なる効果発現も期待**される。

地域住民の声

- ◆ 旧道を通る交通量が減少したため、通学路の安全性が向上した。
- ◆ 消防出動の際に、アクセスが向上し時間の短縮につながった。
- ◆ 南会津病院へ搬送する際に、安全運行につながった。



道路標準断面イメージ図

生産拡大

観光振興や広域的な物流の活性化を支援

小峰城



国道294号 白河バイパス (白河市)



【効果1】交通混雑の緩和

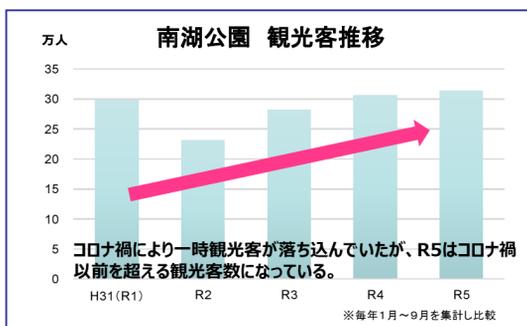
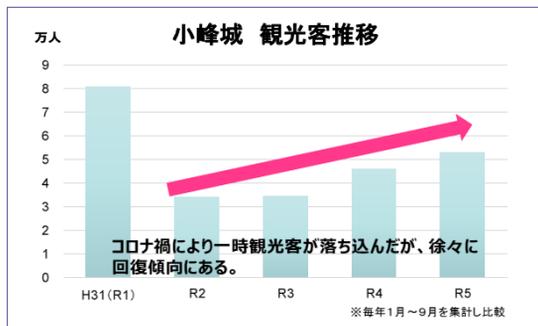
■ **バイパス整備**により、通過交通が現道からバイパスへ転換し、交通混雑の緩和が図られる。

〈交通渋滞解消効果〉

	供用前 (R3)	供用後 (R5)
旧道 (地点1)	7,660[台/12h]	交通量減少 5,748[台/12h]
バイパス部 (地点2)	—	6,948[台/12h]

【効果2】観光名所へのアクセスの向上

■ 国指定史跡で観光名所のある小峰城や南湖公園へのアクセスが向上し、観光客の増加が期待される。



出典：白河市

生産
拡大

広域的な交流や物流の活性化を支援

伊達市



【効果1】交通混雑の緩和

- **バイパス整備**により、通過交通が現道からバイパスへ転換し、**交通混雑の緩和**が図られる。
- やながわ工業団地への**アクセス性が向上**され、雇用創出や地域産業の活性化が期待される。

【after】整備後



生産
拡大

林業従事者の育成や技術力の向上を支援



施設外観

研修を通して林業への誇りが実感できる施設を整備

林業分野への新規就業希望者の育成、林業従事者の技術力向上及び市町村職員の森林・林業に関する知識の習得を目的に本施設を整備しました。

県産材・東京オリンピックのレガシー材、WOOD.ALC・縦ログ工法など、福島県と関わりの深い様々な木材・木造技術を活用することで、研修生が「林業への誇り」や原木が建築物にどのように使用されるのかを実感できる施設としています。



研修棟交流スペース



研修実施状況



研修実施状況

研修参加者の声

- ・ 建物に入った瞬間に木のいい香りがして、すごく落ち着く雰囲気建物だと思いました。
- ・ 建物に木を使う魅力を間近に実感しました。
- ・ 森林経営計画、集積計画を策定・実施することによる行政のメリット・デメリットを理解できたことが良かった。
- ・ 様々な技術の開発・導入を通じて、林業の世界もDXが推進されていることがわかり、林業に関する知識を更に深めることができた。

整備内容等

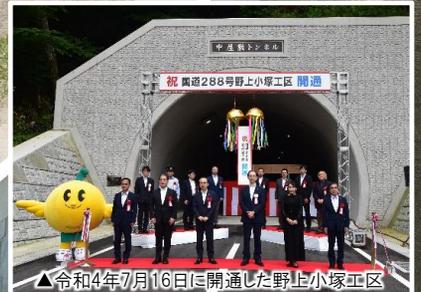
場 所：福島県郡山市安積町 地内
(福島県林業研究センター内)
構 造：木造 平屋建て
延べ面積：研修棟903㎡
実習棟422㎡
竣 工：令和4年8月

生産
拡大

住民帰還の促進や広域的な交流・物流を支えるふくしま復興再生道路



国道288号 野上小塚工区 (大熊町) 【令和4年7月完成】



【効果1】県内外へ避難している町民の帰還促進を支える

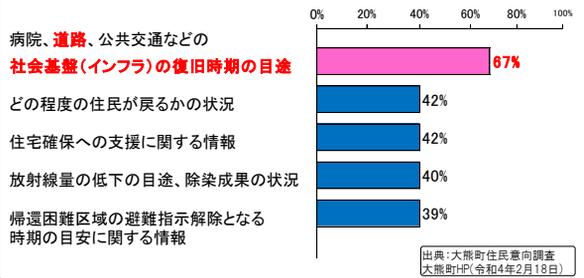
双葉地域と県中地域のアクセスが向上することで、県内や県外へ避難している町民への帰還促進を支援する。

大熊町民の主な避難先地域

- ・ 浜通り地方 約5.4千人 (いわき市 約4.5千人)
- ・ **中通り地方 約1.7千人 (郡山市 約1.0千人)**
- ・ 会津地方 約0.6千人 (会津若松市 約0.5千人)
- ・ 茨城県 約0.4千人
- ・ 埼玉県 約0.3千人
- ・ 東京都 約0.2千人

出典：大熊町避難先の状況
大熊町HP(令和4年12月1日現在)

大熊町への帰町を判断するために必要なこと



【効果2】道路幅員の狭小区間や視距の不良区間を解消し、広域的な交流や物流を支える

道路幅員の狭小区間や視距の不良区間を解消することで、双葉地域と県中地域の往來の利便性が向上し、広域的な交流や物流の活性化を支援する。



道路利用者の声

- ・ 大型車とのすれ違いが怖くなくなった。
- ・ 冬場も安心して通れそう。
- ・ 郡山方面に行くのが便利で早くなった。



整備前



整備後

生産
拡大

観光交流人口の拡大と インフラへの理解促進を図る

県内全域



木戸ダム
監査廊探検

ふくしまインフラツーリズム推進事業

【令和4年度～】

【効果1】インフラを観光資源として活用することによる観光交流人口拡大

ふくしまインフラツーリズムでは、民間施設を含めた様々な既存インフラを活用し、地域観光と結びつけ、**観光交流人口の拡大**を図っていきます。



橋梁



ダム



県営球場



インフラ施設見学



地域の周遊による
交流人口の拡大



【インフラツアー】→【来訪者の増加】→【交流人口の拡大、地域経済への寄与】

（県内観光事業者によるツアー事例）：

「会津のダム巡りと喜多方ラーメン満喫の旅」 会津若松観光ビューロー主催

【効果2】インフラの役割や重要性への理解促進

普段インフラに触れる機会のない方にも、観光目的での見学や体験を通じて、**インフラの役割や重要性を知ってもらう**きっかけになります。



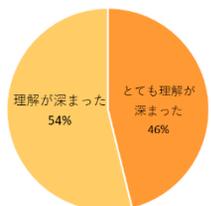
木戸ダム
ダムの仕組み説明



松川浦大橋
橋の概要説明



ポータルサイトでは、モニターツアーの様子やおすすめのモデルコースを紹介しています！



モニターツアー参加者アンケートでは全員が「インフラへの理解が深まった」と回答！（回答数26人）

生産
拡大

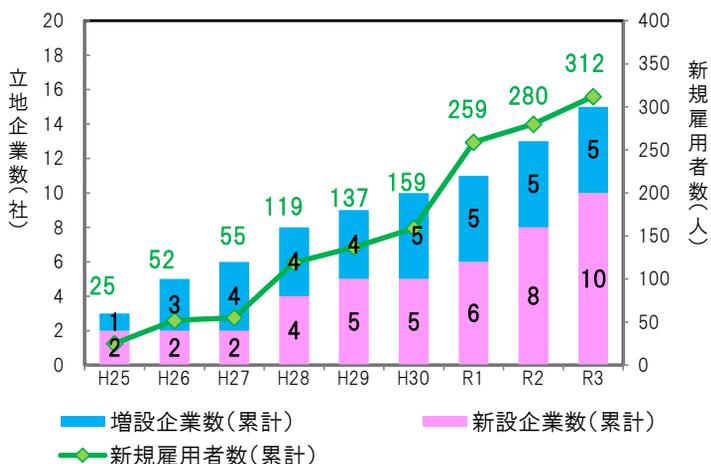
ふくしま復興再生道路の整備により 県中、相双地方の物流やネットワークを強化



小野富岡線 小白井工区(いわき市)

【令和3年3月完成】

沿線市町村への新設・増設した企業数・新規雇用者数



【福島県トラック協会】

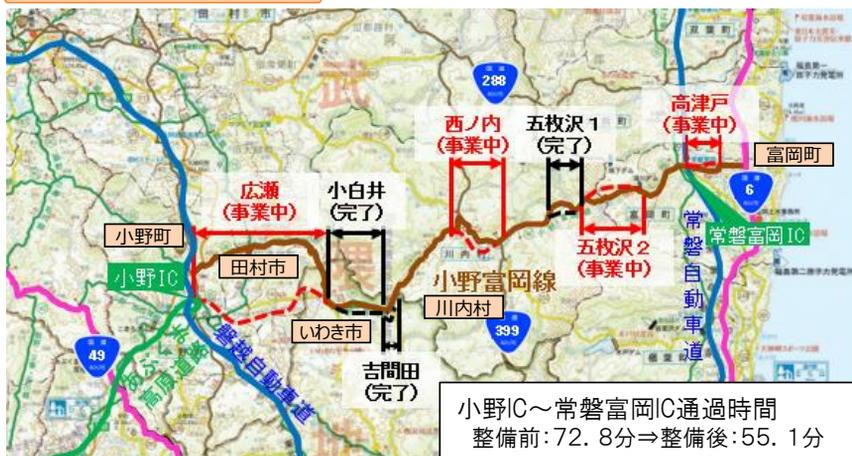
◆ 白河から富岡方面に行く際に、小野富岡線で大型車の通行が可能となれば、**いわきを迂回(高速利用)する必要がなくなり利用しやすくなる。**

【食料製造品等輸送事業者】 (須賀川市)

◆ 小野富岡線は、相双地域へは距離的に最短で行けるルートで、隘路がなくなれば、**もう1本信頼できるルートが形成され、効率よく回すことができるようになる。**



小野富岡線の整備状況



小野富岡線は、磐越自動車道・あぶくま高原道路と常磐自動車道を結ぶ幹線道路であり、**ふくしま復興再生道路**として、一体的に整備を進めています。

整備により、物流やネットワークの**更なる強化**を図るとともに、大規模災害時の円滑な**緊急輸送**を確保することが期待されています。

生産
拡大

復興のシンボル施設やアクセス道路が 地域住民の生活を支える



道の駅「なみえ」、国道114号浪江拡幅(浪江町) 【令和2年8月道の駅完成、令和3年3月浪江拡幅完成】

【効果1】道の駅による交流人口の拡大

令和2年8月の道の駅オープン以降、浪江町の新たな観光拠点として交流人口が拡大しています。

また、町の玄関口として、復興状況や観光情報の発信基地としての役割を担います。



併設する伝統産業施設「なみえの技・なりわい館」では地元の産品が並べられ賑わいを見せています

◀なみえの技・なりわい館

道の駅を拠点に地域を結ぶ新たなモビリティサービスの実証実験も行われています

なみえスマートモビリティチャレンジ▶



【効果2】道路拡幅により円滑な交通を確保、浪江ICへのアクセス性が向上



国道114号の道路拡幅により、常磐道(浪江IC)へのアクセス性が向上し、浪江町の復興を支援。



整備前



整備後

生産
拡大

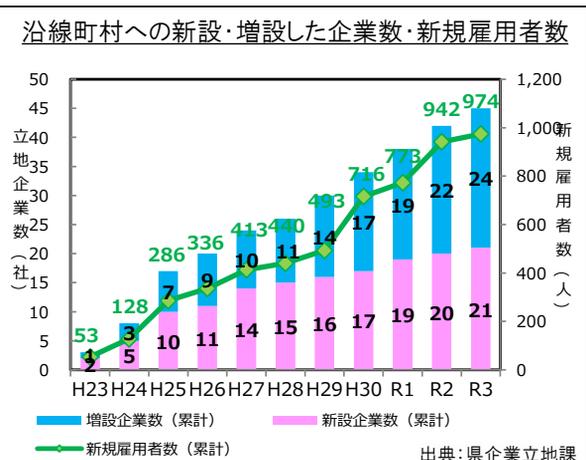
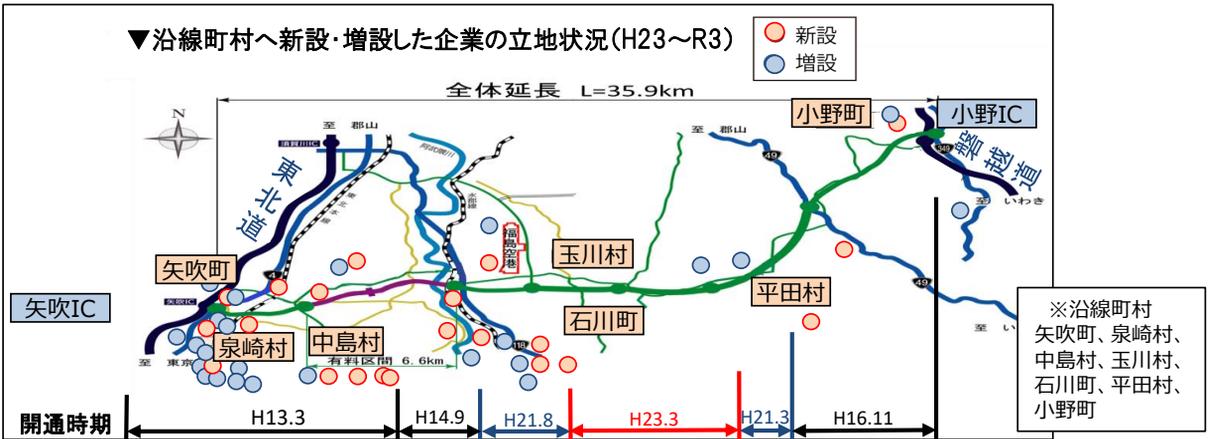
物流・生産活動を支える自動車専用道路 沿線に企業が進出、雇用を創出



あぶくま高原道路(矢吹IC~小野IC) (東北自動車道) (磐越自動車道)

あぶくま高原道路(石川母畑IC)付近

【効果】全線開通により沿線町村への企業進出、雇用が拡大



全線開通により、沿線町村へ45社が進出、約970名の雇用を創出。今後も更なる拡大が期待される。



矢吹IC付近の工業団地(写真提供：矢吹町)

生産
拡大

会津地域を支える広域道路ネットワーク 高規格道路のミッシングリンクを解消

喜多方ラーメン(喜多方市)



五色沼(北塩原村)



鶴ヶ城(会津若松市)



会津縦貫道

会津縦貫北道路(喜多方IC～会津若松北IC)

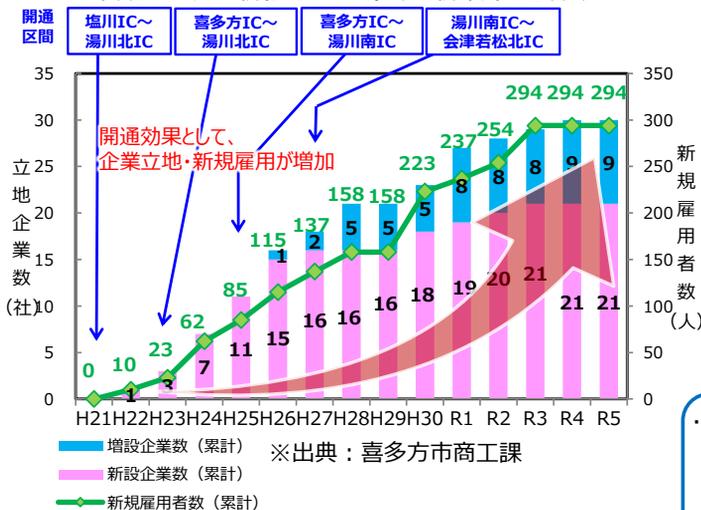
【平成27年9月完成】

地域間交流の促進、都市や産業、観光資源などを有機的に結び、圏域全体として集積規模の拡大を図るための地域高規格道路

【効果1】企業進出、雇用拡大

■喜多方地方への企業進出や雇用拡大など、産業振興の発展に寄与

▼喜多方市へ新設した企業数・新規雇用者数



【効果2】救急搬送時間を大幅短縮

■喜多方方面から第3次救急医療施設である会津中央病院や会津医療センターへの搬送時間が短縮され、救急救命率の向上に寄与



・患者への負担に配慮し、搬送ルートを国道49号から会津縦貫北道路へ変更し、安定した搬送ができるようになった。



【その他の効果】

■磐越自動車道及び会津縦貫南道路との広域道路ネットワークを形成し、災害時の緊急物資の輸送を可能とする災害に強い交通機能を確保。

■会津地域に点在する観光地間の移動時間を短縮することにより、観光振興に寄与している。



・開通したことで、観光周遊がスムーズになりました。
・移動時間に余裕ができたため、他の観光地へも足を伸ばせるようになりました。

生産
拡大

浜通りの水産業の復興を支援

新地町
相馬市
南相馬市
浪江町
富岡町
いわき市

【請戸漁港】

原発事故が起きた福島第一原子力発電所から最も近くに位置する請戸漁港(浪江町)は、立入制限により工事着手まで約2年半の期間を要しましたが、震災から約10年の歳月を経て、令和3年3月に復旧工事が完了。

松川浦・請戸・釣師浜・真野川・久之浜・四倉・豊間・勿来・富岡・小浜

第3種漁港

…利用範囲が全国的なもの

第2種漁港

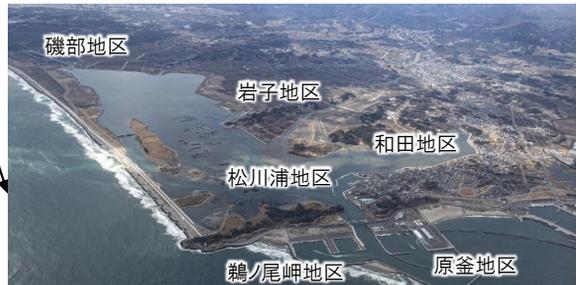
…利用範囲が第1種より広く、第3種に属さないもの

第1種漁港

…利用範囲が地元の漁業を主とするもの

東日本大震災により県内の10漁港全てにおいて壊滅的な被害を受けましたが、請戸漁港(浪江町)が令和3年3月に完了したことにより、全ての漁港で復旧工事が完了しました。

また、令和3年2月及び令和4年3月に発生した福島県沖地震により、松川浦漁港、釣師浜漁港、真野川漁港で再度被害を受けましたが、令和7年3月に全ての復旧工事が完了しました。



【松川浦漁港】

景勝地「松川浦」内に造られた漁港で、県内一の漁獲量・漁獲高を誇る。



【豊間漁港】

平成29年に沼之内支所魚市場が再開され、多くの新鮮な魚が水揚げされている。

【効果1】東日本大震災で被災した岸壁や防波堤の復旧により、水産物の安定供給が可能に！

○岸壁や防波堤等の復旧(松川浦漁港 鶴ノ尾岬地区)



令和2年度までに全ての漁港の復旧が完了。漁港の復旧とともに、平成24年6月から始まった試験操業は、令和3年3月末に終了し、令和3年4月から本格操業への移行期間となりました。今後は水産物の生産・流通が震災前の水準へ徐々に戻っていくことが期待されます。



出初め式(請戸漁港)



競りの再開(請戸漁港)

漁港復旧・復興の工事経過

■：工事実施(海岸含む)

漁港名	H23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	備考
釣師浜漁港(新地町)	■	■	■	■	■	■	■	■			
松川浦漁港(相馬市)	■	■	■	■	■	■	■	■			
真野川漁港(南相馬市)	■	■	■	■	■	■	■	■			
請戸漁港(浪江町)				■	■	■	■	■	■	■	避難区域
富岡漁港(富岡町)				■	■	■	■	■			避難区域
久之浜漁港(いわき市)	■	■	■	■	■	■	■	■			
四倉漁港(いわき市)	■	■	■	■	■	■	■	■			
豊間漁港(いわき市)	■	■	■	■	■	■	■	■			
小浜漁港(いわき市)	■	■	■	■	■	■	■	■			
勿来漁港(いわき市)	■	■	■	■	■	■	■	■			

※請戸漁港は平成29年3月31日、富岡漁港は平成29年4月1日に避難区域解除

10漁港における陸揚量(t) 港勢調査より



【効果2】漁港施設を活用した地域の取組を支援

四倉漁港(いわき市)の「道の駅よつくら港」や松川浦漁港(相馬市)の「浜の駅松川浦」など、豊かな水産資源を活かした地域の取組が活性化しています。



四倉漁港「道の駅よつくら港」



松川浦漁港「浜の駅 松川浦」グランドオープン(R2.10月)
写真提供：相馬市観光協会

生産拡大

福島・宮城・山形を包含した広域経済圏を支える海の玄関口の整備



相馬港4号ふ頭地区ふ頭埋立造成事業 (相馬市、新地町)

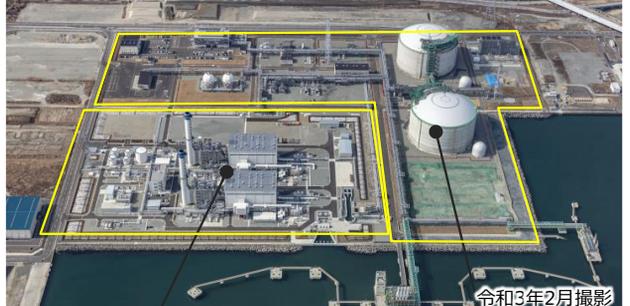
【効果1】

- 臨港道路の4車線化により利便性が向上し、**港湾機能が活性化**
- **新たな企業が立地し、取扱貨物量が増大**

【効果2】国、県、民間事業者が一体となった港湾整備により、**新規雇用の創出に寄与**



4号ふ頭地区埋立造成事業



<福島天然ガス発電所>
 (令和2年5月営業運転開始)
 ・建設投資：約1,400億円
 ・新規雇用：約100人

<相馬LNG基地>
 (平成30年3月操業開始)
 ・建設投資：約600億円
 ・新規雇用：約100人

(万トン)

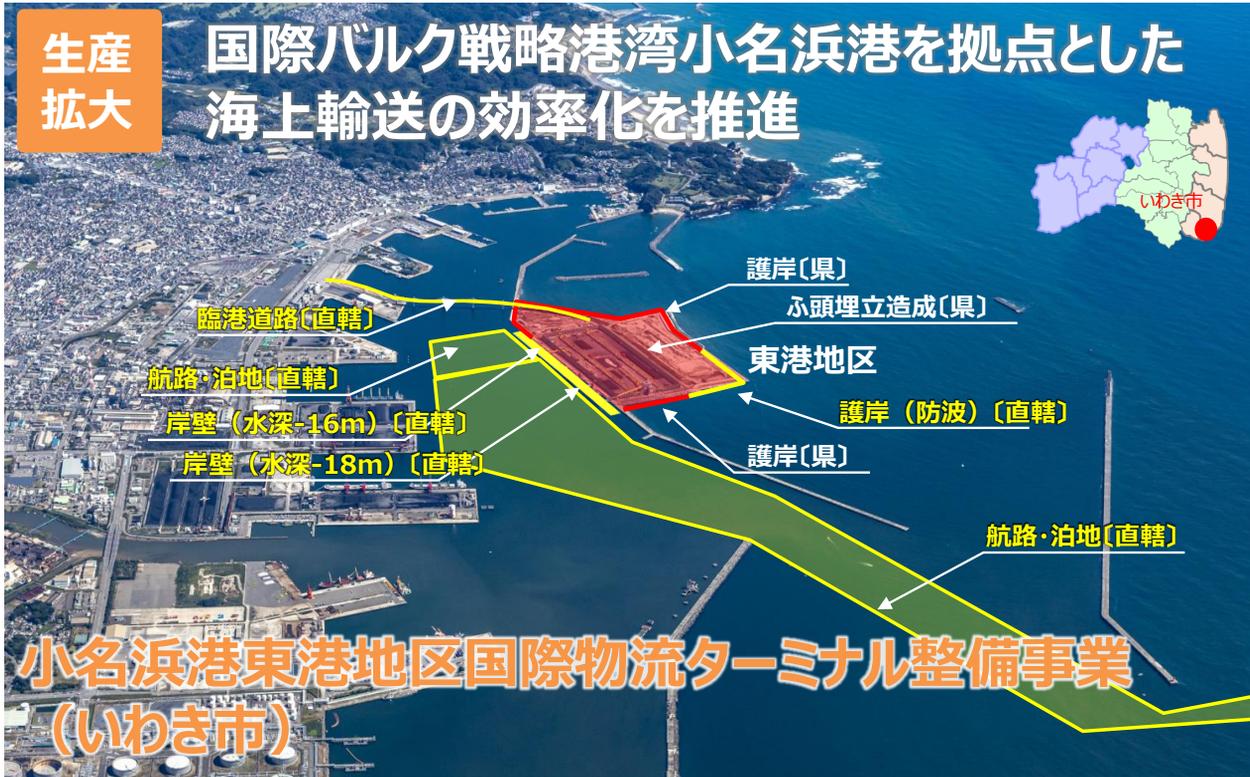
取扱貨物量の推移



国、県が一体となって、土地の埋立造成や防波堤、臨港道路の整備を行い、港湾機能の向上を図ることにより、民間事業者の大型投資による**企業立地**が実現し、**新規雇用の創出**や**取扱貨物量の増加**に寄与。

生産
拡大

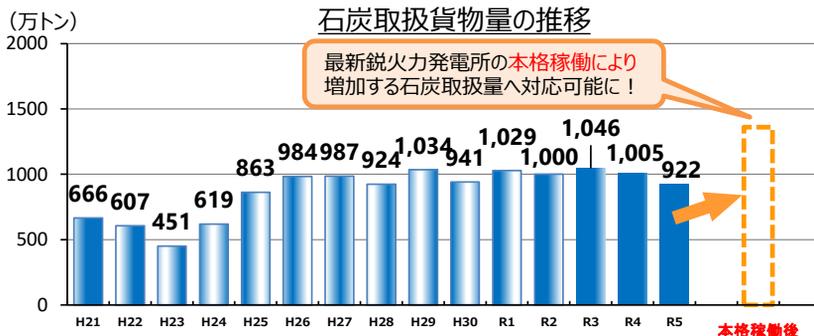
国際バルク戦略港湾小名浜港を拠点とした 海上輸送の効率化を推進



小名浜港東港地区国際物流ターミナル整備事業 (いわき市)

【効果1】東日本地域におけるエネルギー拠点としての役割を果たします

大水深(水深-18m)岸壁や野積場を拡張することにより、船舶の沖待ち解消や、大量かつ安価な石炭を取り扱うコールセンターとして荷役機能が効率化され、東日本地域のエネルギー拠点としての役割が期待されます。



【効果2】大型船が接岸できる岸壁を整備し、貨物大量一括輸送によりコストを低減



大型船が接岸できる大水深岸壁をもつ東港地区は、令和4年6月に全面供用を開始し、より効率的な海上輸送が可能となりました。

生産
拡大

効率的なコンテナ貨物の荷役を実現 小名浜港大剣ふ頭コンテナターミナル 機能強化事業（いわき市）

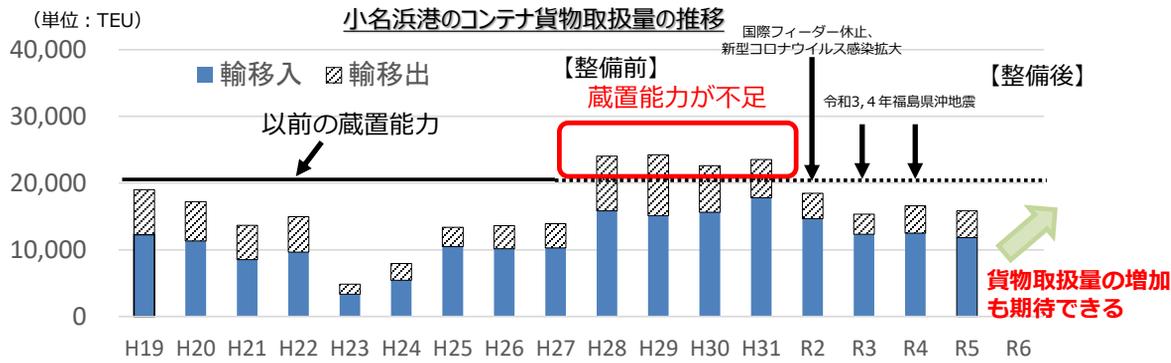


大剣ふ頭
コンテナターミナル

【効果 1】 コンテナヤード拡張により、コンテナ貨物の蔵置能力が向上

平成28年以降に急増したコンテナ貨物取扱量に対応するため、蔵置能力の向上が求められていました。令和3～6年度にかけてコンテナヤード拡張工事を実施したことで、蔵置能力が向上しました。

現在は、国際フィーダー休止や新型コロナウイルスの影響による貨物量の減少が回復していない状況ですが、モーダルシフトの進展や小名浜道路開通に伴い、今後の物流拠点としての役割がますます期待されます。

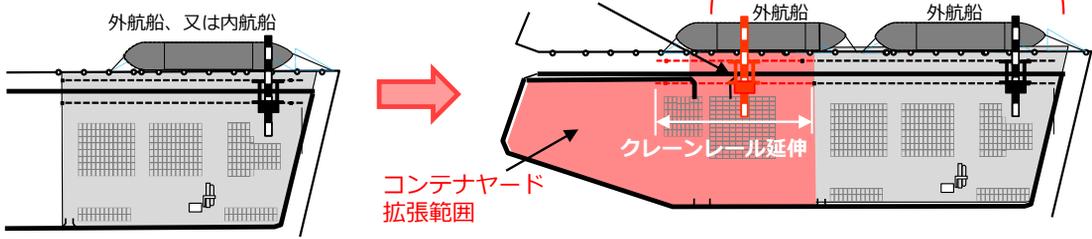


【効果 2】 クレーン増設・レール延伸により、2隻同時接岸による効率的な荷役が可能に

令和3～6年度にかけてコンテナクレーン増設、クレーンレール延伸を実施したことで、コンテナ船の2隻同時接岸が可能となりました。これにより、さらなる荷役の効率化が期待されます。

【整備前】 1隻しか接岸できず、入港日の重複による抜港や遅延（滞船）が恒常化
⇒定時性の確保が困難

【整備後】 2隻同時接岸が可能となることで、遅延（滞船）解消、定時性確保に期待



生産
拡大

小名浜港と常磐自動車道を直結し、 いわき地域の産業・観光振興に貢献



▲小名浜港でのコンテナ荷揚げ



▲小名浜港1・2号ふ頭(アクアマリンパーク)



小名浜道路(いわき市)

【効果1】産業と観光の振興促進

小名浜道路の周辺には、小名浜港や工業団地が立地し、加えて、小名浜港の背後地には水族館や観光・物産施設といった交流拠点、さらには、再開発が行われ、商業サービス拠点を核とした区画が供用されており、これら小名浜港を中心とする地域と常磐自動車道を自動車専用道路で結ぶことにより、**物流やネットワークの更なる強化**が期待されます。

また、防災面からも、東日本大震災時に緊急物資の受入港として大きな役割を果たした小名浜港と、緊急交通路として被災直後から救護活動や緊急輸送を支えた高速道路ネットワークを直結させることで、**大規模災害時の円滑な緊急輸送を確保**することが期待されています。

【運送事業者】

◆ 今までいわき石川線を利用してきたが、自動車専用道路である小名浜道路を利用することで**安全に早く運送**できるため、期待している。



【効果2】物流ネットワークの強化



▲小名浜道路周辺の工業団地立地状況

【効果3】所要時間の短縮



▲各ICからの所要時間(常磐自動車道~小名浜港のアクセス時間が半分に短縮)

生産
拡大

地域医療や産業振興、広域的な物流を支えるふくしま復興再生道路



国道399号 十文字工区・戸渡工区
(いわき市・川内村)
【令和4年9月完成】

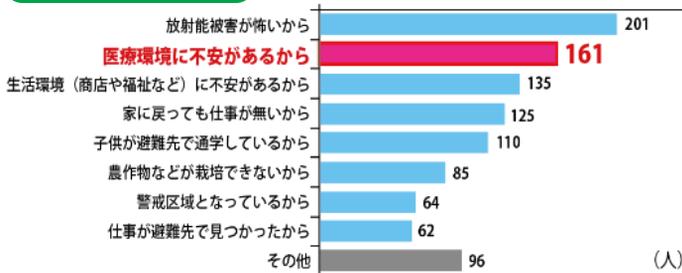


▲令和4年9月17日に開通した十文字工区

【効果1】地域の医療を支えます

医療環境への不安から帰村できない村民に対し、医療環境が改善し帰村の促進が図れます。

川内村民が帰村しない理由



緊急搬送時の時間短縮



出典：H22センサス（指定最高速度より算出 ※当該区間は設計速度より算出）

【効果2】通勤・通学を支援

通勤・通学上の問題から帰村できない住民に対し、整備による路線バスの導入などの検討が可能になります。

川内村役場～いわき市役所間の所要時間が短縮



出典：H22センサス（混雑時旅行速度上下平均値より算出 ※当該区間は設計速度より算出）

地域住民の声

整備によって、いわき市が通勤圏になります。また、震災後、寮付きの高校に進学するしかない状況でしたが、路線バスの導入など、教育環境向上も期待できます。

生産 拡大

南会津地域を支える広域道路ネットワーク 高規格道路のミッシングリンクを解消



【効果】広域道路ネットワークの強化

- 県土の骨格を成す6本の連携軸の一つである会津軸として、磐越自動車道及び会津縦貫北道路との広域道路ネットワークを形成し、災害時の緊急物資の輸送を可能とする災害に強い交通機能を確保。
- 南会津地域から第3次救急医療施設である会津中央病院へ60分以内で搬送可能な範囲が拡大されることにより、緊急性の高い外傷患者等の救命率が向上する。
- 現道の線形不良区間や幅員狭小区間を回避することにより、走行性や安全性が確保されるため、交通事故が減少する。
- 南会津地域に点在する観光地間の移動時間を短縮することにより、観光振興に寄与する。



会津縦貫南道路の整備がもたらす時間短縮やカーブの減少や路面状況の向上は、患者の命を救うことにつながる。

- ・国道121号には代替路がないので、会津縦貫南道路のように信頼性の高い道路が整備されることは安心感につながる。
- ・冬の通行が楽になるので、運転のストレスが減る。
- ・大内宿に泊まって、日光や山形にも行ける。観光地にゆっくり滞在できる。



▼広域道路ネットワークのイメージ



現道の状況



生産
拡大

歴史的建造物の保存と 観光資源としての活用

会津若松市、猪苗代町



既存水門を活用した治水管理(洪水調節機能を付加)

明治13年完成の十六橋眼鏡石橋水門を、大正3年に改築されて以来80年余りを経た十六橋水門は、コンクリート造りの水門施設として国内最古の貴重な近代土木遺産

歴史的景観を変えずに補強、改修

十六橋水門(会津若松市・猪苗代町)

【効果】歴史的建造物として保存し、安積疏水関連施設見学者が増加傾向

十六橋の由来は西暦800年頃まで遡るとされており、安積疏水事業で会津方面へ流出する水量を調節し、郡山方面へ引水する流量を確保するための水門として改築され、現在は猪苗代湖から日橋川への洪水調節機能も付加することにより、**治水・利水上重要な役目を果たしているとともに、歴史的な価値が非常に高い。**

歴史的景観を変えずに補強、改修したことで貴重な土木遺産を保存するとともに、**重要な治水機能**を有するだけでなく、**観光資源・安積疏水のシンボル**としての役割も果たしている。

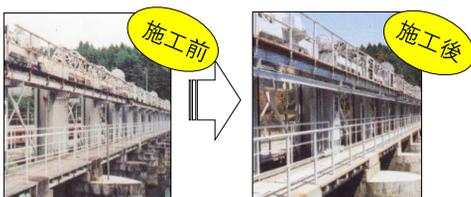
- 平成14年
土木学会選奨土木遺産を受賞
- 平成22年
近代化産業遺産群続33「東北地方の産業振興の基礎を築いた水資源・交通・都市基盤整備の歩みを物語る近代化産業遺産群」構成遺産の一つとして認定
- 平成28年
日本遺産「未来を拓いた「一本の水路」—大久保利通“最後の夢”と開拓者の軌跡」構成文化財の一つとして認定

歴史的景観を変えずに補強、改修を実施

■堰柱補強・改修



■水門設備改修



十六橋水門の改修による治水機能の確保

水門設備の改修とともに治水容量
6,000万m³を確保



生産
拡大

道路整備により物流の効率化や
安全・安心な通勤・通学を支える

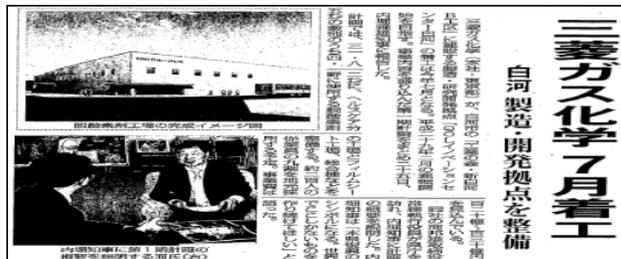


【効果】隣接する工業団地の工場新設や増設を誘発、雇用創出に寄与



■東北自動車道の白河中央スマートICから工業の森・新白河までの1.8km区間の現道を拡幅することで、工業の森・新白河への企業進出が増え、雇用の創出に寄与しています。

▼従業員数(工業の森・新白河)



H27.3.26 福島民報

安全
安心

リダンダンシーを確保し災害に強い強靱な 道路ネットワーク



国道118号 小沼崎バイパス (下郷町) 【令和6年3月完成】

【効果】災害時の安全な通行を確保

令和6年5月7日に発生した倒木により、旧道が一時通行止めとなりましたが、小沼崎バイパスの整備により、大幅に迂回することなく、安全な交通が確保されました。



会津縦貫南道路4~5工区の
完成により、10分短縮



倒木による通行止め状況



安全
安心

リダンダンシーを確保し災害に強い 強靱な道路ネットワーク

博士シネル

会津美里町
昭和村



国道401号 博士峠 (会津美里町・昭和村) 【令和5年9月完成】



▲令和5年9月10日 開通式

【効果】災害時の安全な通行を確保

令和6年8月7日の大雨により、路肩崩壊や土砂流出のため旧道が通行止めとなりましたが、博士峠工区が完成していたことにより、災害時の安全な通行を確保することができました。

①



②



路肩の崩壊

①②旧道部の状況

③



被害無し

③博士峠工区の状況

【効果】会津地方の地域振興

博士峠工区開通前後の昭和村の週末における状況を比較すると、地域振興に大きく貢献していることが分かります。



売上
約2.3倍



来場者
約5.0倍

道の駅からむし織の里しょうわ

交流・観光拠点施設 喰丸小学校

安全
安心

災害に強い道路整備により 安全で円滑な交通を支える



【after】整備状況



国道252号 水沼工区 (金山町)

【令和5年度完成】

【before】平成23年7月の新潟・福島豪雨により道路が冠水し、**通行止め**が発生。

平成23年7月の新潟・福島豪雨により道路が冠水し、**通行止めが発生**。



冠水後の状況

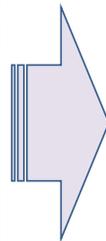
冠水時の漂着物が散乱

【効果】 **道路のかさ上げ**により、浸水被害を受けない**安全・安心な通行**を確保。

安全な
通行確保



河川と道路が隣接



道路のかさ上げ

安全
安心

自然災害に脆弱な道路のバイパス化により、
緊急輸送路の通行を確保



いわき市

いわき石川線 才鉢工区
(いわき市)
【令和4年3月完成】



▲令和4年3月24日に開通した才鉢工区

平成18年豪雨による旧道の被災事例



至 石川町

土砂崩落が発生

令和元年台風19号による旧道の被災事例



至 石川町

法面崩落が発生

【効果】年間を通じた安全・安心な通行を確保。

現道部

・令和元年台風19号（連続雨量約256mm）により、**法面崩落の被災**を受け、22日間の**通行止めが発生**

バイパス整備部

台風13号（連続雨量約183mm）による通行止めなし

R5.9月
台風時に
被災なし

安全
安心

国土強靱化により 道路の通行止めを未然に防止



【after】 対策後



国道114号 堰守工区(浪江町)

【令和4年3月完成】

【before】 令和元年10月25日から26日にかけての大雨により土砂が流出し、通行止め。



【効果】年間を通じた安全・安心な通行を確保。

令和元年10月25日から26日
にかけての大雨
(連続雨量：約251.5mm)

法面からの土砂流出により、
約13時間の通行止めが発生

R5.9月
台風時に
被災なし

令和5年台風13号
(連続雨量：約172.0mm)

通行止め無し

安全
安心

落石対策により 道路の通行止めを未然に防止



【after】整備後



国道115号 中井塚工区 外
(相馬市)

【before】豪雨に伴う落石で通行止めが発生。



令和元年台風19号
(連続雨量：約231.0mm)

・約190日の通行止めが発生。

【効果】年間を通じた安全・安心な通行を確保。



R5.9月
台風時に
被災なし

令和5年台風13号
(連続雨量：約108.5mm)

通行止め無し

安全
安心

既存施設の老朽化対策と 適切な維持管理による道づくり



国道118号

芦ノ原スノーシェッド(下郷町)

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策

【before】 補修前(令和5年5月)

【after】 補修後(令和5年9月)

スノーシェッドの屋根の状況



天井部から
漏水状況

防水機能を更新



施設の
老朽化対策

【効果】既存施設の老朽化対策

- ・老朽化により漏水が発生していた屋根の防水機能を新しいものに更新しました。
- ・漏水の防止を図ったことで、スノーシェッドの老朽化対策を図りました。

安全
安心

既存施設の老朽化対策と 適切な維持管理による道づくり



(一) 浪江鹿島線 北台木橋(南相馬市)

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策

【before】 補修前(令和6年4月)



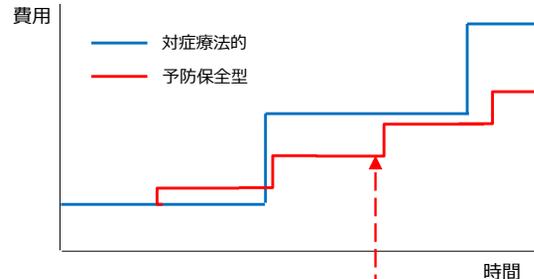
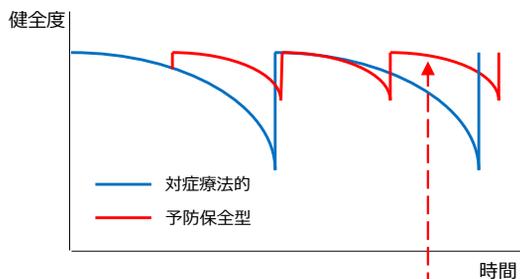
【after】 補修後(令和6年10月)



施設の
老朽化対策

【効果】既存施設の老朽化対策

- ・ 腐食が進んだ鋼製の橋げたと支承（上部構造と下部構造の間の部材）の塗装を塗り替え、橋げたにあて板を取り付け、橋の老朽化対策を実施し県民の安全・安心を確保しました。
- ・ 計画的な対策により寿命を延ばし、補修コストの縮減が図られます



損傷が小さいうちに予防的な修繕を行うことで 修繕に係るトータルのコストを縮減！

安全
安心

歩道整備により歩行空間を確保し、
通学児童の安全性を向上



母畑白河線 木ノ内前工区(泉崎村)

【before】整備前

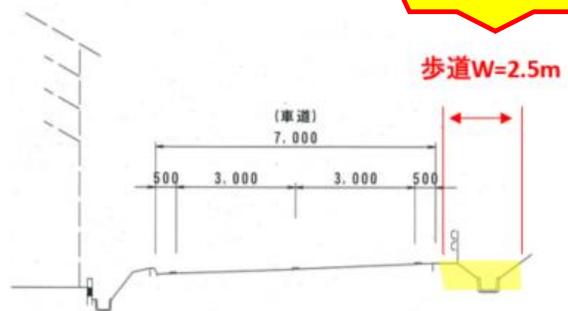


【after】整備状況(令和5年11月)



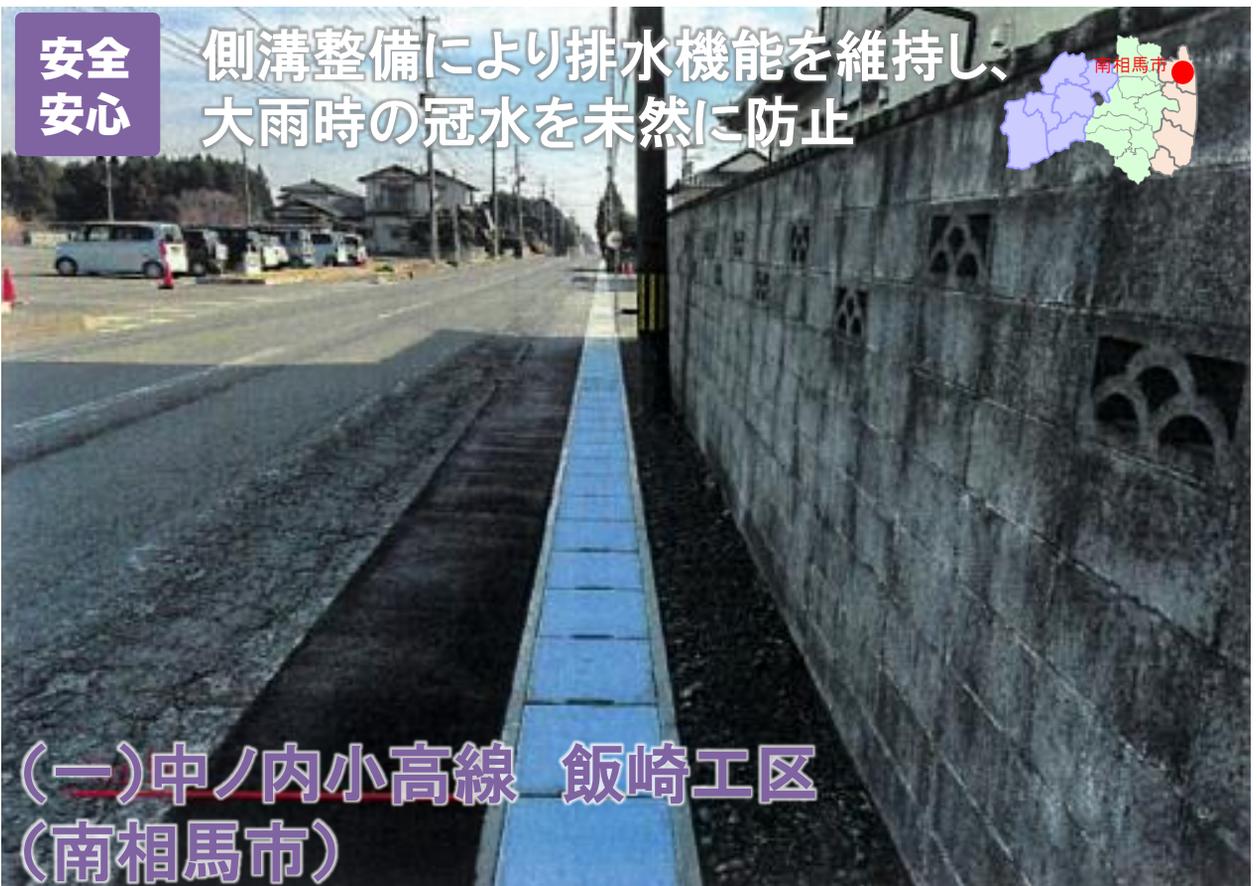
【効果】 歩道整備により、通学児童の安全・安心な通行を確保。

安全な
通行確保



安全
安心

側溝整備により排水機能を維持し、
大雨時の冠水を未然に防止



(一)中ノ内小高線 飯崎工区
(南相馬市)

【令和5年3月完成】

【課題】
整備前

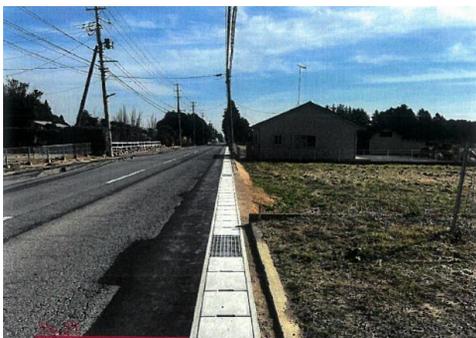
土側溝による土砂の堆積



側溝の破損



【効果】大雨時の冠水リスクを低減。



【課題】

- 土側溝による土砂堆積
- 側溝の破損

【事業内容】

- U型側溝・コンクリート蓋 設置



排水機能の維持・改善による
大雨時の冠水リスクを低減

安全
安心

東日本大震災からの復興 津波の河川遡上から住民を守る！



【before】被災直後（平成23年東日本大震災）



【after】令和4年度 復旧事業完了



河口部堤防の役割

- 発生頻度の高い津波・高潮に対する**安全性を確保**
- 想定以上の巨大な津波が来た場合でも、**粘り強い構造**により**背後地の被害を軽減**

【効果】背後地域住民の**安全・安心**を確保！

- 堤防の嵩上げにより、津波の河川遡上による**浸水被害の軽減**が図られ、沿岸域住民の**安全・安心**が確保されました。
- 同時に、背後の産業用地を守ることで、復興を後押しします。



出典：新地町復興整備計画

安全
安心

台風13号豪雨における 河川改修事業効果



【after】対策後



【before】令和元年東日本台風 被災直後



夏井川(いわき市) 防災・減災、国土強靱化対策

地域住民の声

河川改修の効果で水位が
あまり上がらなかったのも、
安心していられた。
(地域住民)

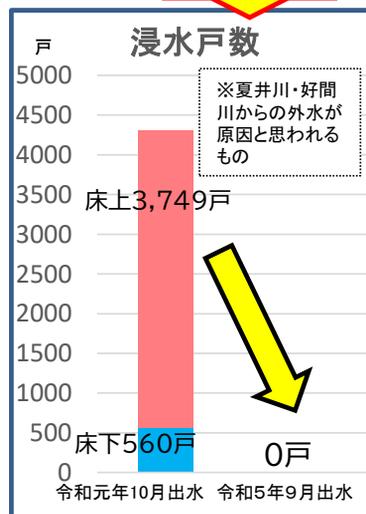
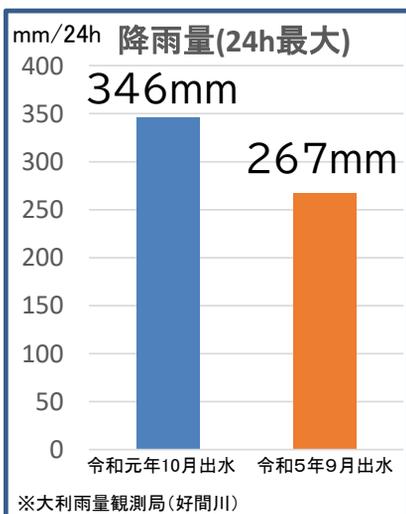
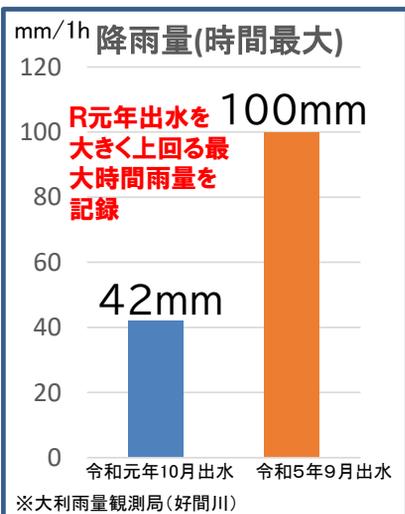


【効果】河道掘削と伐木・除草により河川断面が大きくなり、水位低減効果を発揮。
令和5年9月8～9日の台風13号においては夏井川・好間川沿川で外水氾濫は発生しなかった。

【夏井川 鎌田水位観測局付近 横断面】 事業実施前の断面でR5.9出水が起きていたと想定した場合
計画高水位超過 7.7m



R5.9月
台風時に
被災なし



安全
安心

令和5年台風13号豪雨における 河川改修事業効果



【after】対策後



宇多川(相馬市) 防災・減災、国土強靱化対策

地域住民の声

河川改修により、以前ほど
水位が上がらなくなったの
で、安心できた。



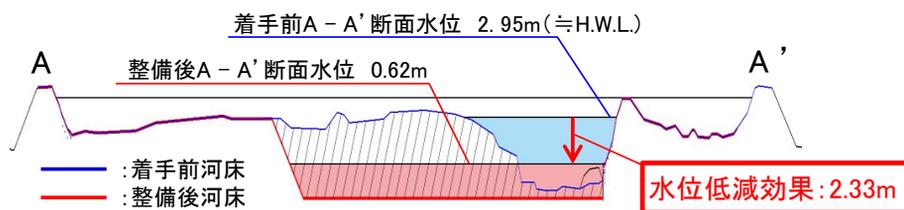
【before】令和元年東日本台風 被災直後



出水 相馬市北飯淵地内外浸水状況

【効果】河道掘削及び伐木・除草により河川断面が大きくなり、水位低減効果を発揮。
令和5年9月8～9日の台風13号においては宇多川・小泉川沿川で外水氾濫は発生しなかった。

北飯淵地区の河道掘削が完了している区間において、R5年9月発生台風13号
(9/8～9/9)の雨量・水位を基に事業効果を検証した結果、**約2.3mの水位
低減効果**が確認できた。



樹木伐採・河道掘削着手前
(令和2年9月撮影)



樹木伐採・河道掘削整備後
(令和4年7月撮影)



安全
安心

令和元年東日本台風以降の

河道掘削効果

大森川(福島市)

防災・減災、国土強靱化対策



●: 写真撮影箇所
▲: 水位観測所

【before】河道掘削実施前



【after】河道掘削実施後

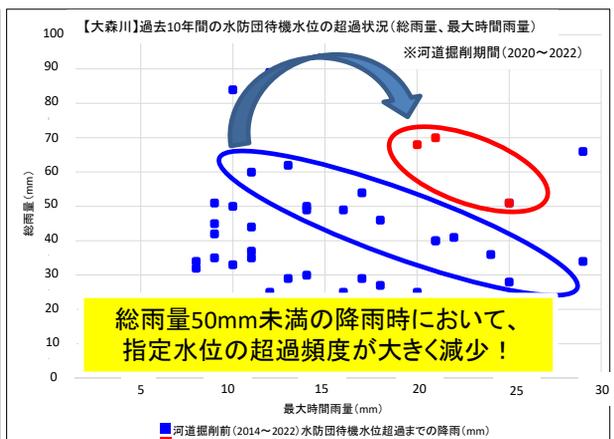
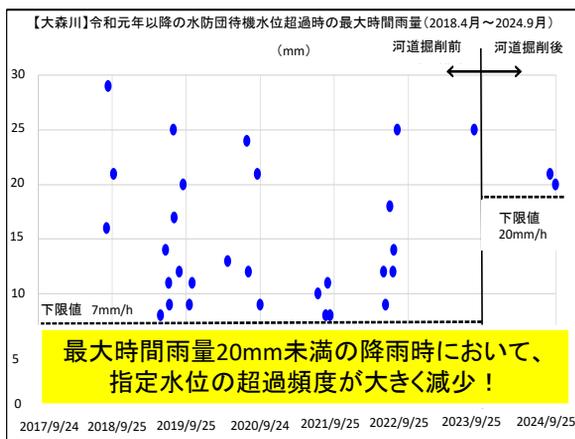


【効果】

- 河道掘削及び伐木・除草により河川断面が大きくなり、出水時の水位低減効果を発揮。
- 対策後においては大森川での出水による水位上昇の頻度が大きく減少した。

大森川の河道掘削実施後、雨量・水位を基に事業効果を検証した結果、**水防団待機水位の超過頻度が大きく減少していることが確認できた。**

【水防団待機時の雨量下限値 河道掘削前:7mm/h 河道掘削後:20mm/h】



安全
安心

台風及び豪雨における 河道掘削事業効果

藤原橋

視点②



【after】対策後



藤原川(いわき市)

【before】対策前

視点①：下船尾橋から上流を望む



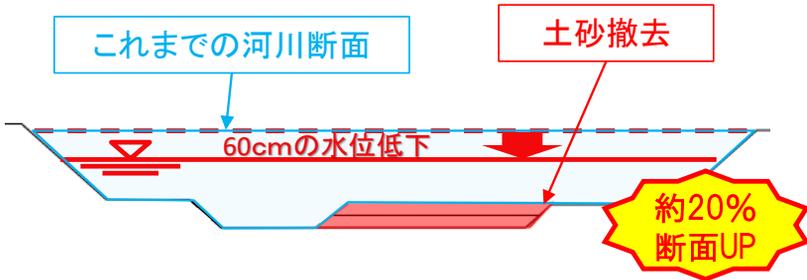
下船尾橋

視点②：藤原橋から下流を望む



藤原橋

【効果】河道掘削と伐木・除草により河川断面が大きくなり、水位低減効果を発揮。
R6年に発生している台風や豪雨でも藤原川沿川で外水氾濫は発生しなかった。



これまでの、河道内土砂が堆積しており、洪水時に河川の流れを阻害していましたが、土砂を撤去することで河川断面が、約20%増えました。

【地域住民の声】



- ・近年ゲリラ豪雨や線状降水帯がいつ発生してもおかしくない状況だったため、土砂の掘削や草刈りをいただき**少し安心**することができた。
- ・以前は堤防まで草が生い茂っていたが、**景観も良くなり**、散歩コースになりました。

安全
安心

台風及び豪雨における 堤防補強事業効果



【after】対策後



小高川(南相馬市)

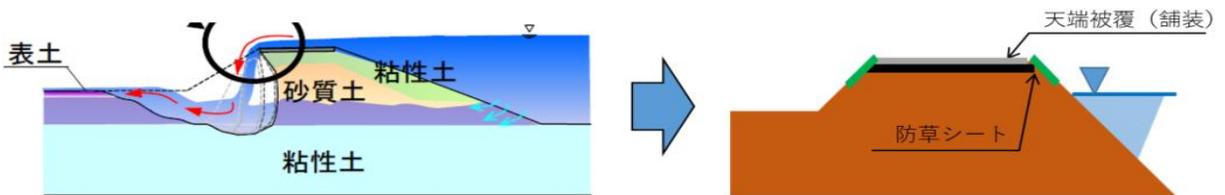
防災・減災、国土強靱化対策

【before】施工前



【効果】

河川の堤防を補強するため、堤防天端の舗装を行いました。
堤防への雨水の浸透を抑制し、越水時の侵食から堤防を守ります。



【地域住民の声】



- ・近年ゲリラ豪雨や線状降水帯がいつ発生してもおかしくない状況で、堤防を舗装していただき、決壊の恐れが低くなったので、**安心することができた。**
- ・以前は堤防まで草が生い茂り草刈りをしていたが、舗装されたことでその**手間もなくなり、景観も良くなり、散歩コースになりました。**

安全
安心

台風13号豪雨における事業効果



【通常時】



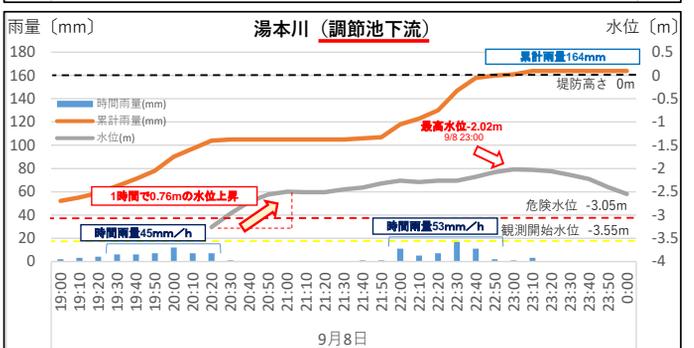
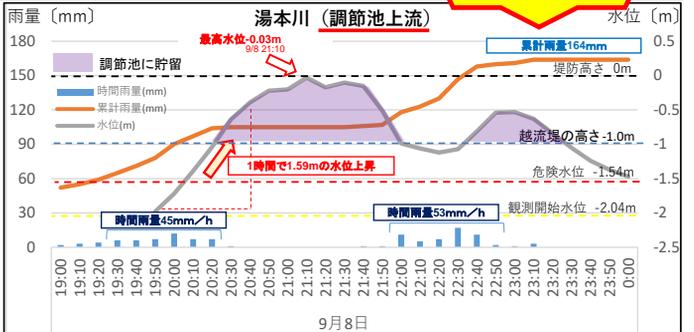
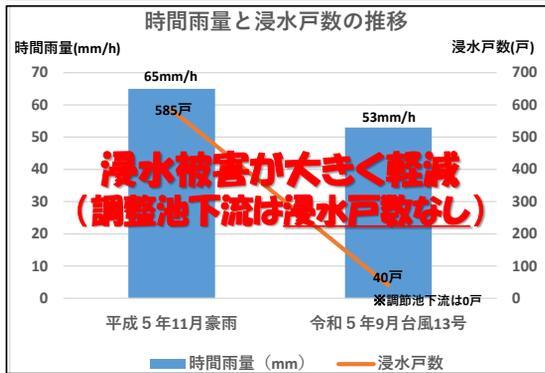
湯本川調節池(いわき市)

台風13号豪雨による調節池への貯留状況



河川水位の上昇を低減

【効果】調節池への貯留により、下流の水位上昇を低減し、洪水被害を防いだ！



令和 5 年 9 月 8 日の台風 1 3 号では、湯本川流域で 1 6 4 mm/日の降雨が記録されたが、**湯本川調節池の貯留効果**により、上流側の水位上昇に比べ、下流の**水位上昇が低減**され、今回出水において、湯本駅周辺など調節池下流での**洪水被害は発生しなかった**。

安全
安心

台風13号豪雨における ダムの洪水調節機能



小玉ダム 貯水池状況

最高貯水位 9/9 1:00 EL.192.19m

小玉ダム(いわき市) 木戸ダム(楡葉町)

【before】平常時(令和5年8月17日)

【after】洪水時(令和5年9月9日)



木戸ダム 8/17 11:00 EL.178.66m



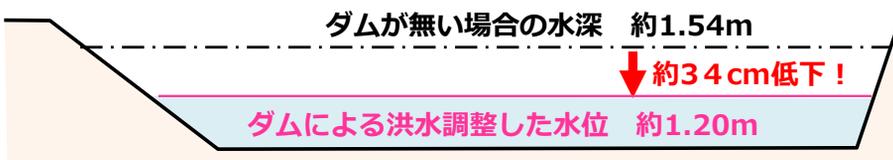
木戸ダム 9/9 9:00 EL.183.95m

【効果】ダムによる洪水調節により下流河川の水位の上昇を低減

地域住民の声

今回の台風13号では、木戸ダムで1,876千m³(東京ドーム1.5杯)、小玉ダムで967千m³(東京ドーム0.8杯)の水を貯留しました。このうち小玉ダムでは、ダムからの放流量を調節することで、下流河川において、ダムが無い場合と比較し、**水位を34cm低下**させました。

水位があまり上がらなかったのも、安心していられた。
(地域住民)



河川水位の上昇を低減

河川断面図

安全
安心

土砂災害から命や財産を守り、
地域の安全・安心を確保



【after】対策済(法枠工)

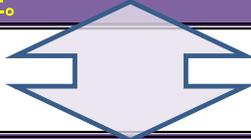
保全人家



R5.9月
台風時に
被災なし

駒谷(いわき市内郷地区)

【効果】令和5年9月の台風13号による豪雨でも、対策工を実施していた地区においては、土砂災害を未然に防ぐことができた。



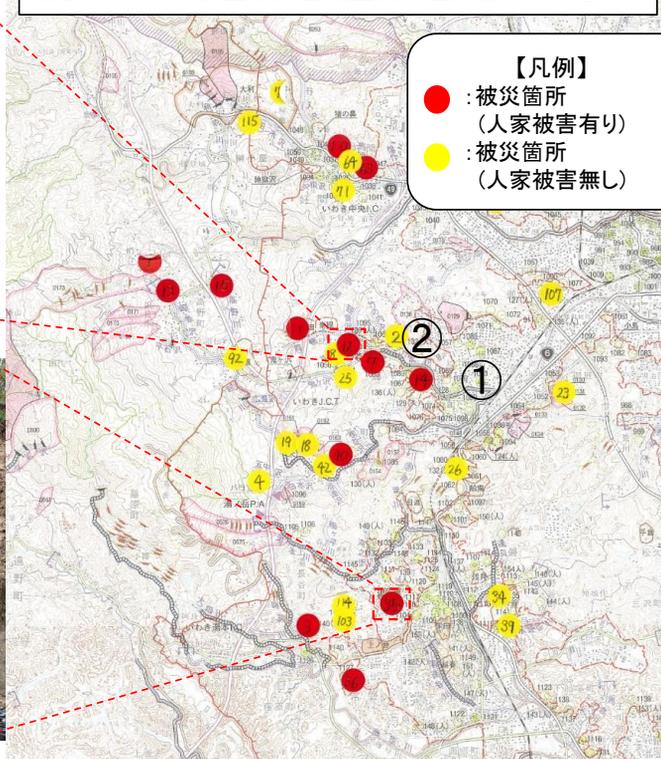
【未対策】台風13号による豪雨によりいわき市の内郷・常磐地区を中心に多数の土砂災害が発生。

(平太郎)いわき市内郷宮町



法面崩落状況

台風13号に伴う土砂災害発生箇所位置図 (いわき市)



【凡例】

- : 被災箇所 (人家被害有り)
- : 被災箇所 (人家被害無し)

(山ノ神)いわき市常磐湯本町



法面崩落状況

安全
安心

土砂災害から命や財産を守り、
地域の安全・安心を確保



【after】対策後

R5.9月
台風時に
被災なし

東八川
砂防堰堤(福島市)

下流保全施設



保全対象

- ・(主)土湯温泉線
- ・人家戸数:166戸
- ・保全施設名:公民館等

【効果】令和5年9月の豪雨災害による被害なし。

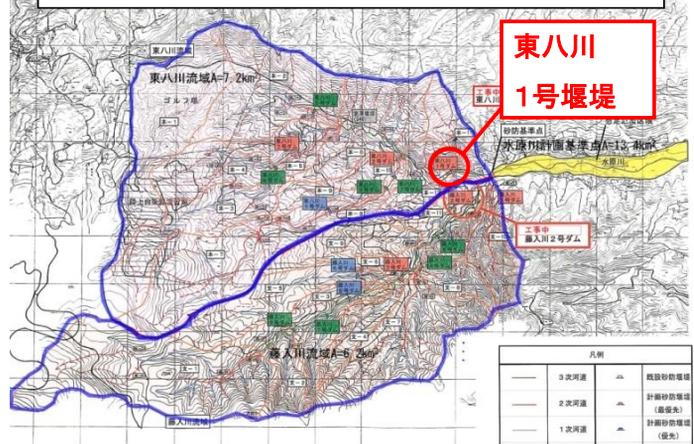
上流荒廃状況



溪岸浸食状況



水原川水系(東八川・藤入川)砂防計画流域図



令和5年9月の豪雨災害において、
砂防堰堤より上流は荒廃や溪岸浸食がみられたが、

砂防堰堤より下流では被害がなかった。

安全
安心

土砂災害から命や財産を守り、
地域の安全・安心を確保！



飯根沢砂防堰堤(西会津町)

【before】被災前(平成29年5月撮影)



堰堤側面より撮影

【after】堆積状況(令和4年8月)



堰堤側面より撮影



堰堤上流側より撮影

R4.8の豪雨災害時の
堆砂位置



下流保全人家



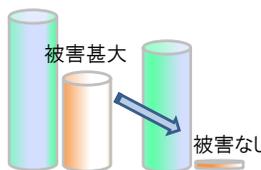
堰堤上流側より撮影

平成7年8月には、大規模な土石流
が発生。下流の人家に甚大な被害を
もたらした



【効果】令和4年8月の豪雨災害による被害なし！

稲荷峠観測所
降雨量
平成7年
8月1～4日
354mm



寺内観測所※
降雨量
令和4年
8月3～4日
268mm

砂防堰堤整備により、
下流への土砂流出は
なく、**被害ゼロ**！

※稲荷峠観測所が平成21年で廃止となったため、
近隣の寺内観測所を採用

安全
安心

土砂災害から命や財産を守り、
地域の安全・安心を確保！



湯上沢砂防堰堤

湯上沢砂防堰堤(喜多方市)

【before】被災直後(平成10年8月豪雨)



湯上沢山腹荒廃、
土砂・流木堆積状況



保全人家(熱塩温泉街)周辺

県道熱塩温泉追分線 冠水

【after】整備状況(平成31年3月)



湯上沢砂防堰堤

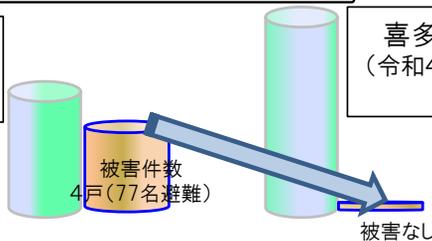
保全人家



保全人家

【効果】令和4年8月の豪雨災害による被害なし！

喜多方観測所降雨量
(平成25年7月22日)
141mm



喜多方観測所降雨量
(令和4年8月3~4日)
278mm

平成25年と比べ降雨量は2倍程度であるが、砂防堰堤整備により、下流への土砂流出はなく、**被害ゼロ!**

安全
安心

土石流から命や財産を守り、
地域の安全・安心を確保！



二軒在家沢砂防堰堤(只見町)

【before】被災直後(平成23年7月新潟・福島豪雨)

【after】整備状況(平成31年3月)



山腹荒廃状況

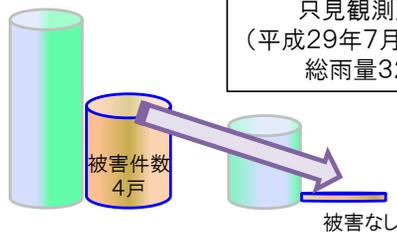
被災状況



現在の状況(令和2年11月)

【効果】平成29年7月の豪雨による被害なし！

只見観測所降雨量
(平成23年7月27日～
平成23年7月30日)
総雨量 711mm



只見観測所降雨量
(平成29年7月16～18日)
総雨量328mm

平成23年と比べ降雨量は
半分程度であるが、若干の
土砂流出は確認されたもの
の、砂防堰堤整備により、下
流への土砂の流出はなく、
被害ゼロ！

**安全
安心**

土砂災害から命や財産を守り、
地域の安全・安心を確保！

地すべり対策施設 下川前地区 (北塩原村)



【before】被災直後(平成3年8月)

【after】整備状況(平成31年3月)



村道(避難路)



地すべりの影響で電柱や
立木が傾いています



横ボーリング
(斜面に穴を掘り地下水を排除)



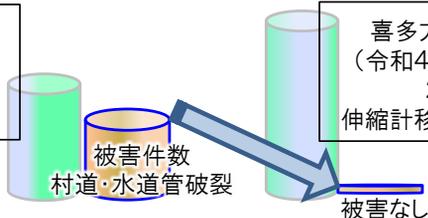
保全対象(人家・国道459号)

集水井(地下水を集める井戸)

【効果】被災時の2倍の雨が降っても被害なし！

喜多方観測所降雨量
(平成10年8月12日)
149mm
伸縮計移動量 3mm

喜多方観測所降雨量
(令和4年8月3~4日)
278mm
伸縮計移動量 1mm以下



平成10年と比べ2倍程度の
雨が降ったにもかかわらず、
地すべり対策の実施により
被害ゼロ！

※工事が完了した平成28年度
以降は伸縮計移動量 無し

安全
安心

道路整備により 冬期交通・救急医療と地域連携を支える



国道118号 鳳坂工区 (天栄村) 【令和4年11月完成】



▲令和4年11月27日に開通した鳳坂工区

【課題】
整備前



＜冬期間の交通障害発生状況＞

至 下郷町



＜急カーブ・急勾配箇所＞

至 須賀川市

【効果】年間を通じた安全・安心な通行を確保。救急搬送時間の短縮。地域間の連携強化。



安全
安心

令和4年3月発生 of 福島県沖地震における 橋梁の耐震補強対策の効果



上名倉飯坂伊達線
医王寺橋(福島市)

【対策内容】落橋橋脚の倒壊等を防ぐため、橋台の桁受部の拡幅及び橋脚の補強(コンクリート巻き立て)を実施(令和3年3月完了)

令和4年3月地震による被害はなく、橋梁の機能を確保

《 対策未実施の場合 》

○耐震補強未実施の場合は、大規模地震発生時に落橋や橋脚の倒壊が発生する場合があります。



《 対策状況 》



震度6弱の地震後でも、落橋・橋脚倒壊、路面の段差など通行不能となるような被害は無く、橋梁の機能を確保することができました。

【効果】耐震性能の強化により、大規模地震後においても円滑な交通機能の確保が可能



地震後においても通行止めを行うことなく、円滑な交通機能を確保することができました。

安全
安心

令和4年3月発生 of 福島県沖地震における 漁港の機能強化対策済み岸壁の効果



松川浦漁港 原釜地区

原釜荷捌き施設
(魚市場)

地震・津波対策施設
【-3.0m岸壁】

松川浦漁港 (相馬市)

○松川浦漁港は、県内随一の漁獲量・漁獲高を誇る漁港です。

○漁獲した「常磐もの」の水産物は、原釜荷捌き施設の前面の岸壁で水揚げされ、競りが行われた後、県内外に出荷されています。

○水揚げする岸壁の機能が損なわれた場合は、漁業活動に大きな支障が生じます。

【整備内容】岸壁の地震・津波対策として、**グラウンドアンカーを増設**

【対策済み岸壁】令和4年3月地震による岸壁本体の被害なし

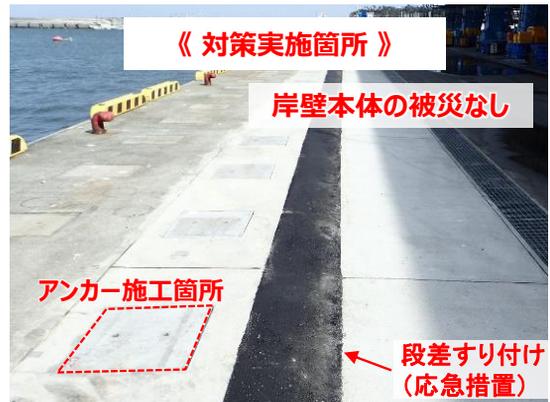


《対策未実施箇所》

岸壁本体の被災が発生

岸壁の傾き、法線のずれ

○地震によって傾きなどの被害が発生し、**長期間利用ができなくなった箇所**もあります。



《対策実施箇所》

岸壁本体の被災なし

アンカー施工箇所

段差すり付け
(応急措置)

○震度6強の地震後でも**岸壁本体には変状がなく**、簡易的な応急措置で、**漁業活動が可能**となりました。

【効果】漁港施設機能の強化により、**早期の操業再開**が可能に



地震後に対策済み岸壁で水揚げ

水揚げをする岸壁が使用可能だったので、地震から6日後の3月22日には、操業を再開することができました。



地震後の競りの様子

河川事業

浸水被害から地域住民の安全・安心な暮らしを守る



【after】対策後



【before】対策前



広瀬川(伊達市) 防災・減災、国土強靱化対策

【効果】

河川の断面が大きくなり、氾濫防止や被害軽減に期待。
また、河川の堤防を補強するため、堤防天端の舗装を行った。

R6年台風7号
で被災無し

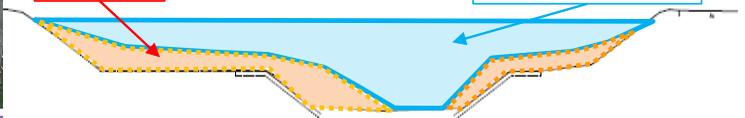
※連続雨量90mm
(R6. 8. 16-17月館観測所)



これまでは、河道内に土砂が堆積しており、洪水時に河川の流れを阻害していましたが、土砂を撤去することで河川断面が、約30%増えました。

土砂撤去

これまでの河川断面



【地域住民の声】



令和元年台風以降、河川の中の土砂が川を狭くしており災害にならないかと気になっていたが、土砂を撤去してもらったことで、川が広くなり安心している。併せて、木も切ってもらえたので、川がきれいになったと感じている。

安全
安心

浸水被害から地域住民の 安全・安心な暮らしを守る



【after】整備状況



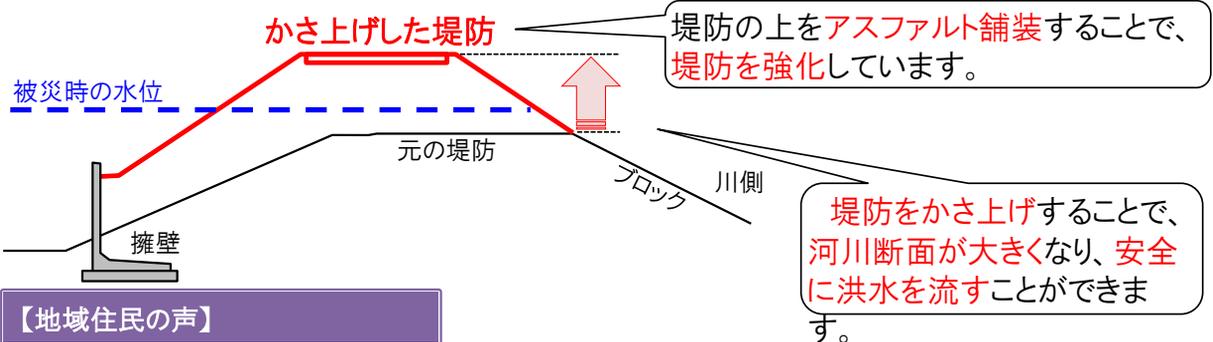
【before】被災状況(令和元年10月)

堤防が延長15mにわたり決壊し、
周辺の住宅が浸水するなどの被害が発生

阿武隈川(本川)と合流

濁川(福島市)
令和元年東日本台風からの復旧

【効果】河川断面が大きくなり、氾濫防止や被害軽減に期待



【地域住民の声】



「何が起こるかは分からないが、決壊した箇所の整備が終わり、堤防も高くなったから安心して生活できるよ。」

「愛着のある河川だから、新しい堤防も地域で草刈りを行っていく。」
「堤防が復旧しても、あの日以来、自分で雨量を確認するようになった。」



安全
安心

浸水被害から地域住民の 安全・安心な暮らしを守る



【after】対策後



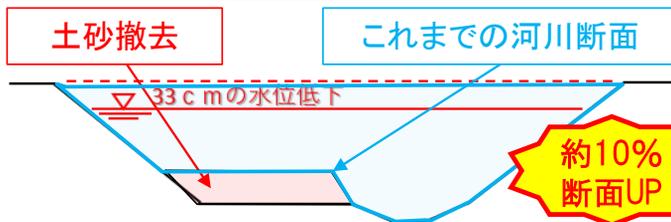
谷田川(郡山市) 防災・減災、国土強靱化対策

【before】対策前

堤防背後に工業団地があり、
堤防の決壊で浸水被害が発生



【効果】堤防補強により、浸水被害の解消・軽減に期待



これまでは、河道内土砂が堆積しており、洪水時に河川の流れを阻害していましたが、土砂を撤去することで河川断面が、約10%増えました。

【地域住民の声】



工事で溜まった土砂を取り除いてもらったことで、安全性が増し、以前より安心して生活できる。
これまで、草木が生えて鬱蒼としていたが、川の姿が見えて、より親しみが持てるようになった。

安全
安心

浸水被害から地域住民の
安全・安心な暮らしを守る



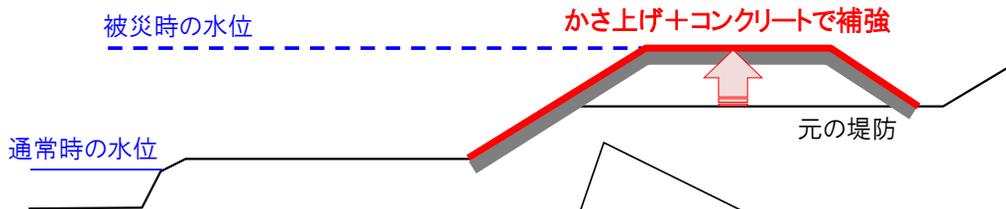
社川(白河市)

令和元年東日本台風からの復旧

【before】被災後(令和元年10月)



【効果】河川断面が大きくなり、氾濫防止や被害軽減に期待



堤防をかさ上げすることで河川断面が大きくなり、かつ、堤防をコンクリートで補強することで洪水に強い堤防となりました。

【地域住民の声】



壊れた堤防は補強され復旧が終わり、安心して暮らしています。

社川には土砂もたまっていて、水量が多くなると危険なので、川底にたまった土砂をさらってもらえると、さらに安心して暮らせる。

安全
安心

浸水被害から地域住民の 安全・安心な暮らしを守る



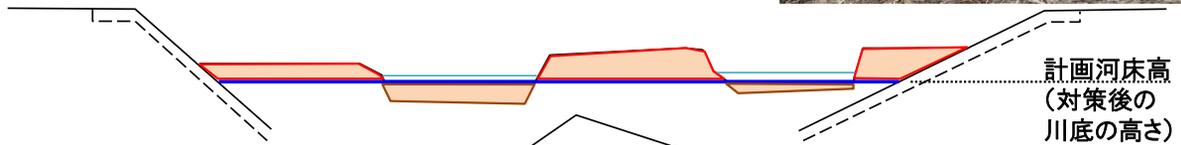
【after】対策後



【before】対策前



湯川(会津若松市) 防災・減災、国土強靱化対策



深掘れしている川底の凸凹を整える(河床整正)ことで、
洪水を流す能力が上がります。

【効果】河床整正とダムの洪水調整により河川の水位を低下(令和元年東日本台風)



令和元年東日本台風(令和元年10月12日～13日)時に、東山ダムでは1.34万m³(東京ドーム約1杯分)の洪水を溜め、下流の河川の水位を約1.0m低下させました。



ダムの洪水調整により約1.0m
河道掘削の効果により約0.3m
合計約1.3m水位低下
⇒ **浸水被害なし**

【地域住民の声】



- ・住宅側に石を並べてもらったおかげで浸食されないので安心できるよ。
- ・景観も良くなり、河川に親しみが持てるようになりました。工事の後は散歩や遊んでいる人が増えました。
- ・台風が来ても大きな被害がなく良かった。

安全
安心

浸水被害から地域住民の安全・安心な暮らしを守る



【after】対策後

河道掘削
完了箇所

田付川(喜多方市) 防災・減災、国土強靱化対策

田付川

河道掘削
完了箇所

【before】対策前



田付川



田付川

【効果】河川断面が大きくなり、氾濫防止や被害軽減に期待

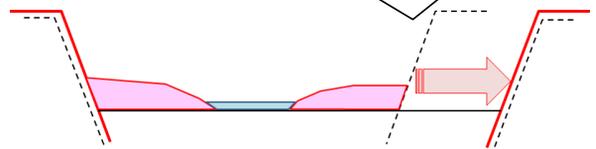
R4.8月
豪雨時に
被災なし

※連続雨量270mm
(R4.8.3喜多方観測所)



田付川

川幅を広げ、また、河川内の土砂を撤去したことで、安全に洪水を流すことができました。

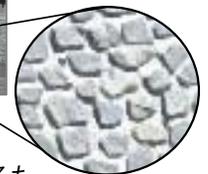


【地域住民の声】



護岸が綺麗に整備されたので、大雨が降っても、前より安心でできるようになった。
(地元行政区長さんの声)

【Topic】景観に配慮した護岸を整備



観光客が多く訪れるエリアであるため、石積ブロックを採用し、魅力的な河川景観を創出しました。

安全
安心

平成23年7月新潟・福島豪雨からの復旧 洪水から地域の安全・安心を守る

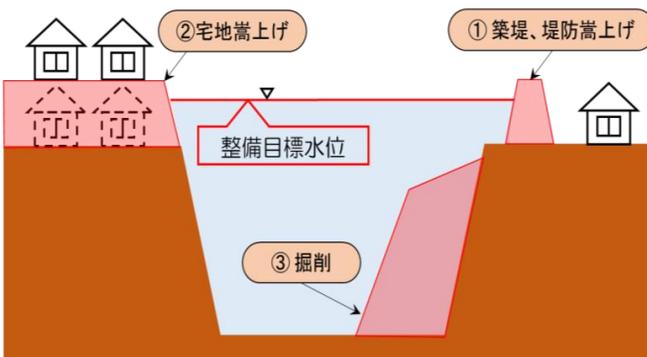


只見川河川改修(只見川沿川地域)

平成23年7月新潟・福島豪雨

平成23年7月27日から30日にかけて福島県会津を中心に記録的な大雨となりました。特に、28日から30日にかけて前線が停滞し、会津西部に位置する只見町の観測所では、4日間の総降水量が711.5mmに達し、只見川(只見町～会津坂下町)では堤防等が決壊し家屋が浸水するなど、甚大な被害が発生しました。

【只見川河川改修事業】洪水から地域の安全・安心を守る！



＜只見川沿川24地区において河川改修事業を実施中＞

- ・土地の低さが低い土地において、浸水被害を防ぐために「①築堤、堤防嵩上げ」や「②宅地嵩上げ」を行います。
- ・河川の水位を下げるために川幅を広げる「③河道掘削」を行います。

【before】整備前



横田地区(高根沢)(金山町)
R2年度から築堤工に着手し、R4年度に完成

【after】整備後



安全
安心

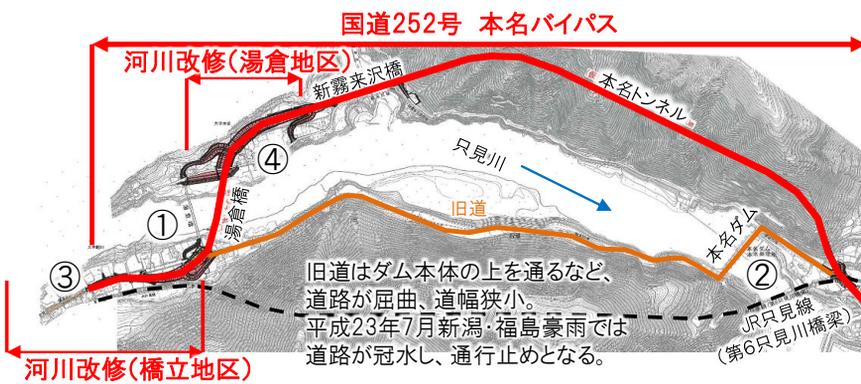
河川改修と道路整備による 安全・安心の確保と奥会津地域の地域振興



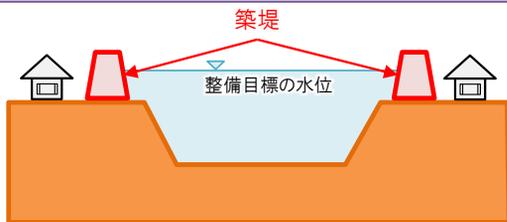
只見川河川改修、 国道252号本名バイパス(金山町)

整備概要

平成23年7月新潟・福島豪雨



【効果】洪水から地域の安全・安心を守り、奥会津地域の広域的な交流・物流を支える



当地域は、付近に代替路線がないことから、築堤により洪水被害を軽減するとともに、トンネル等のバイパス整備により安全で円滑な通行が確保され、奥会津地域が魅力ある地域としてさらに発展していくことが期待されます。



安全
安心

道路整備により 安全な通行と地域間交流・物流を支える



郡山湖南線 三森工区(郡山市) 【令和3年11月完成】

【before】整備前



幅員狭小・線形不良

至 郡山市街地

【after】完成後(令和3年)



至 郡山市湖南町

至 郡山市街地

【効果】安全・安心な通行を確保。広域的な交流・物流の活性化や観光振興も支援。

バイパス整備により安全で円滑な通行を確保され、また、猪苗代湖や布引高原などの観光地へのアクセス性も向上し、観光振興にも貢献することが期待されます。

三森工区 全体延長 L=6,622m



布引高原(郡山市観光協会HPより)

安全
安心

浸水被害から地域住民の 安全・安心な暮らしを守る



逢瀬川河川改修、 大窪橋(荒井郡山線)架け替え(郡山市)

【before】被災直後(令和元年東日本台風)



【after】整備状況(令和4年度)



逢瀬川では、現在、甚大な被害を受けた昭和61年8月台風第10号の時と同規模の降雨となった場合も、**洪水による浸水被害を解消**できるよう、築堤護岸等の整備を進めています。

【整備】河川改修と合わせて、大窪橋を架け替える道路改良を実施し、**道路の混雑を緩和**します！



複雑な交差点
で渋滞が頻発！



複雑な交差点
が解消され道
路混雑が緩和
しました！

安全
安心

広域的な防災拠点としての 役割を担う「道の駅」



道の駅「猪苗代」 【「防災道の駅」令和3年6月11日選定】

【効果】大規模災害時に、道の駅を**広域的な防災拠点**として活用

道の駅「猪苗代」は、令和3年6月11日に国土交通省より「**防災道の駅**」に選定されました。
大規模災害時の派遣部隊等による復旧・復興活動の基地となる**広域的な防災活動拠点**として、その機能強化を図ります。



防災機能の更なる強化

建物の耐震化・無停電化、貯水タンク、防災トイレ、防災倉庫、ヘリポート等の機能を完備しており、今後も更なる機能の強化を進めてまいります。

▼防災倉庫



▼簡易トイレ(防災倉庫格納)



▼災害時の緊急輸送用ヘリポート



安全
安心

ダムの再開発により、 洪水から地域を守る！



千五沢ダム(石川町)

令和6年3月 再開発事業完了

【before】被災直後(昭和41年9月洪水)

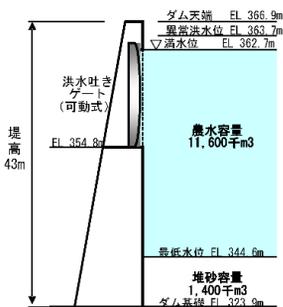
【after】整備状況(令和6年1月)
(試験湛水の洪水時最高水位)



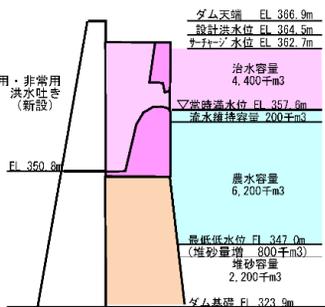
昭和41年9月洪水による浸水状況



【効果】ダムに洪水調節機能を付加することにより、石川町市街地の洪水被害を軽減し、沿川住民の安全・安心を確保



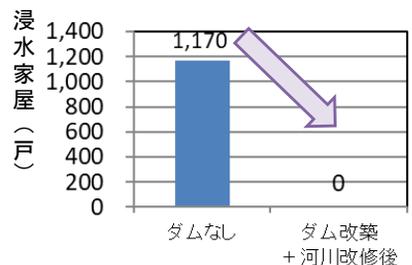
昭和50年にかんがい専用ダムとして整備。洪水調節機能がないため、度々洪水被害が発生。



千五沢ダム再開発事業により、既存の洪水吐きを改築し、ダムに洪水調節機能を付加。

洪水被害の軽減効果

(昭和41年9月洪水による試算結果)



約1,170戸(想定)の被害が軽減し、沿川住民の安全・安心が確保されます。

安全
安心

ダムの事前放流により洪水調節機能を強化

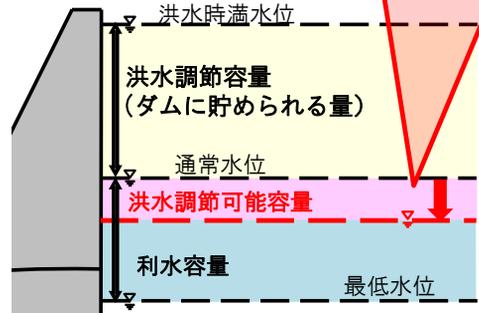
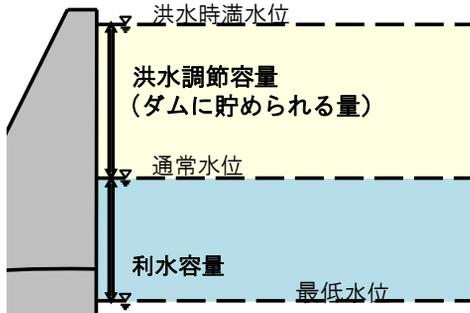


堀川・東山・目中・田島・高柴・四時・真野・
木戸・小玉・こまちダム・千五沢ダム

【before】通常の洪水調節容量

【after】事前放流実施による確保容量

イメージ図



事前放流によりダムの水位を下げ、
ダムに貯められる水の量を増やします。

事前放流とは.....

大雨が予想される場合、利水容量の一部をあらかじめ放流し、貯水位を低下させることで、水害対策に使える容量（洪水調節容量）を増やします。

【効果】事前放流により、ダム下流河川の浸水被害の軽減し、地域住民の安全・安心を確保！

【ダムの洪水調節機能強化に向けた体制構築】

一級水系である阿賀野川・阿武隈川水系の5ダムと、二級水系の6ダムにおいて、事前放流を可能とする治水協定を締結しています。

近年の頻発化・激甚化する水災害への備えとして、これまで確保していた洪水調節容量に加えて、新たに利水容量の一部を水害対策に使える容量として確保することで、**ダムの洪水調節機能を強化し、出水時にダム下流河川の浸水被害軽減を図ります。**



安全
安心

東日本大震災からの復興 津波の河川遡上から住民を守る！



小高川(南相馬市)

河口部堤防の役割

- 発生頻度の高い津波・高潮に対する**安全性を確保**
- 想定以上の巨大な津波が来た場合でも、**粘り強い構造**により**背後地の被害を軽減**
- 堤防背後の防災林等との**多重防護**を形成することにより、総合的な防護ラインとなる



東日本大震災による被災

【効果】 沿岸域住民の**安全・安心**を確保！ 背後地で**営農再開**や**復興拠点施設が整備**！

- 津波の河川遡上による浸水被害の軽減が図られ、沿岸域住民の**安全・安心**が確保されました。
- **復興拠点施設**「小高交流センター」や**商業施設**「小高ストア」が整備され、令和3年12月には小高病院跡地に新たな**小高診療所**が開所、さらには、堤防背後の農地で**ほ場整備**が進められ、**営農再開に向けた取組が進められる**など、着実に復興が進んでいます。



復興拠点施設 小高交流センター(出典:南相馬市HP)



小高診療所(出典:南相馬市HP)



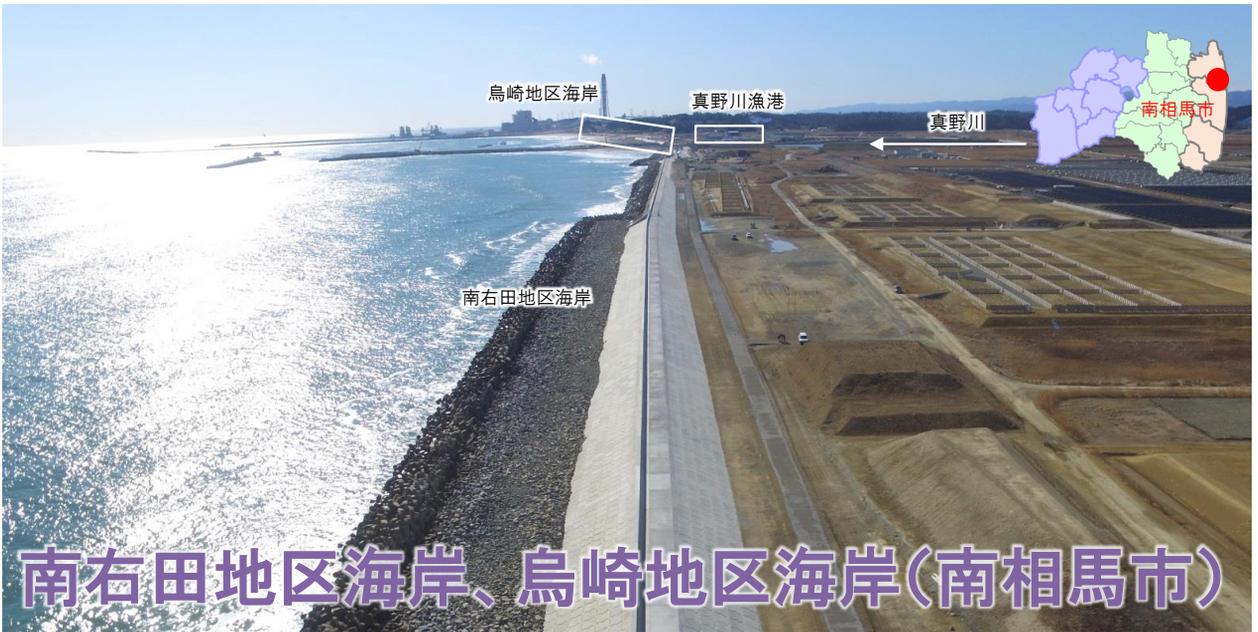
商業施設 小高ストア(出典:南相馬市HP)



出典:南相馬市復興関連事業概要(R3.3月)

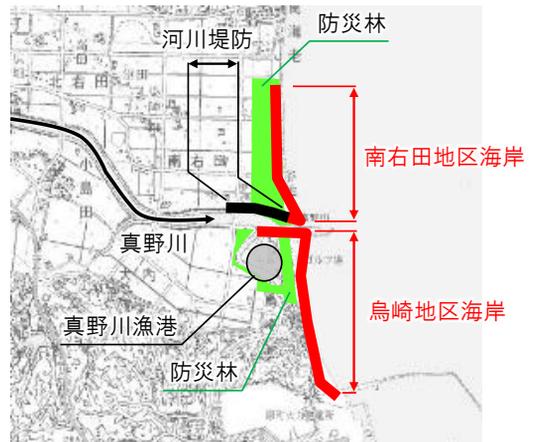
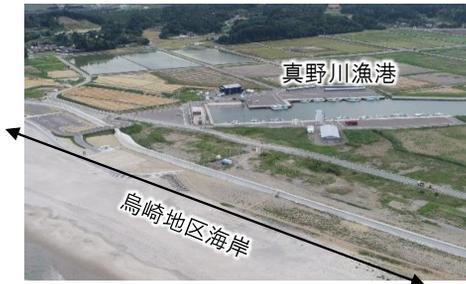
安全
安心

津波浸水の軽減を図り、沿岸域の水産利用や新たな産業を後押し



海岸堤防の役割

- 数十年～百数十年の頻度で発生する津波に対して、『**海岸堤防の嵩上げ**』を行い、安全性を確保
- 想定以上の巨大な津波が来た場合でも、堤防背後の防災林や道路など組合せた**多重防御**による減災対策のため、『**粘り強い構造**』で整備を実施



出典：南相馬市復興総合計画(概要版)

【効果】背後地の安全・安心を確保し、復興を後押し！

海岸堤防の復旧により、**津波・高潮被害の軽減**が図られ、背後地の真野川漁港や新たに整備された太陽光・風力発電施設の安全・安心を確保するとともに、**水産業の復興**や**再生可能エネルギー事業**を後押しします。

地域産業である水産業の復興



真野川漁港で開催された「かしまみなとまつり2017」の様子

再生可能エネルギー事業の立地



南右田地区海岸沿岸に整備された太陽光・風力発電施設

安全
安心

東日本大震災において 救難救助の拠点として活用



福島空港(須賀川市、玉川村)

【効果1】震災時、**帰宅困難者のターミナル**に
定期便に加え臨時便を運航し、帰宅困難者の
ターミナルとなった。

【効果2】**緊急医療の拠点**として機能
DMAT(災害派遣医療チーム)の活動基地、
緊急物資の輸送拠点となった。



ターミナルビル内

県内で必要とする食料全体の
約3分の2は福島空港を經由
し、県内各地の避難所等へ届
けられました。



発災翌日からDMAT活動開始



緊急物資の積み替え

路線	臨時便 運航期間	臨時便		定期便 (3月12日~31日)		搭乗者数 合計
		便数	搭乗者数	便数	搭乗者数	
札幌	3月12日~24日	76便	3,377人	80便	5,052人	8,429人
大阪	3月12日~31日	48便	3,734人	120便	3,647人	7,381人
羽田	3月13日~4月10日	104便	11,022人	—	—	11,022人
名古屋	3月13日~31日	62便	2,343人	—	—	2,343人
合計		290便	20,476人	200便	8,699人	29,175人

・JRや高速道路などアクセ
セスが悪いなか、県外へ
避難出来てよかった。
・仙台空港が使用できな
いなか、福島空港から他
空港への移動ができて助
かった。



安全
安心

河川改修による 市街地の安全・安心と親水性の向上



右支夏井川(小野町)

(令和5年3月)

【before】被災直後(昭和61年8月)

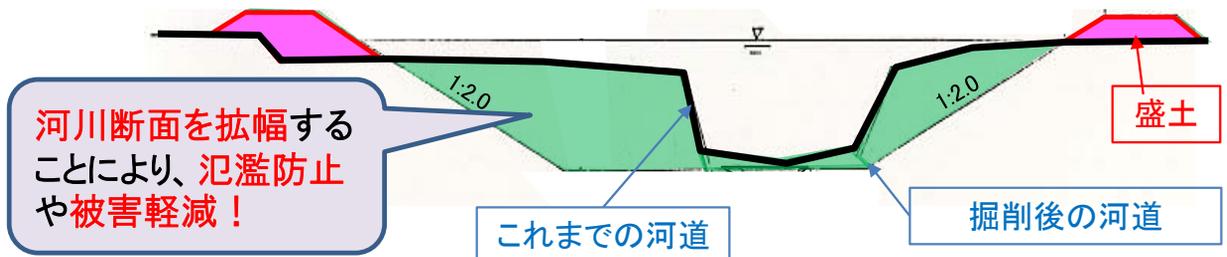
【after】整備状況(令和3年度)



車川の合流付近の河川改修工事(令和4年3月)

【効果】河川改修により**安心・安全の確保**

現在、甚大な被害を受けた昭和61年8月台風第10号と同規模の降雨となった場合でも、洪水による浸水被害を解消できるよう、河道の拡幅や護岸等の整備を進めています。



安全
安心

防災・減災、国土強靱化のための対策事業



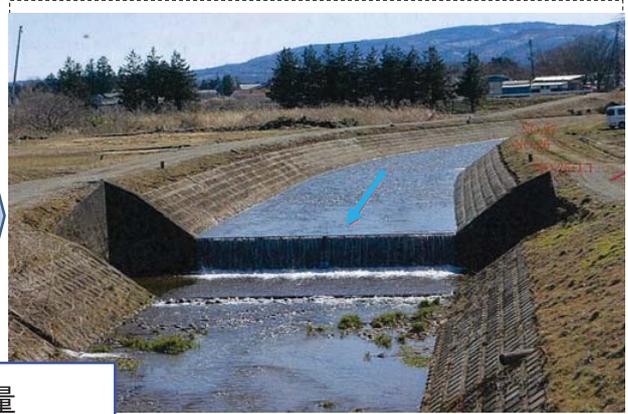
河川に堆積した土砂を撤去

阿武隈川水系 鍛冶屋川（福島市）

【before】 対策前（令和5年7月）



【after】 対策後（令和6年3月）



掘削量
約2,500m³

対策
内容

河道に堆積した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。

安全
安心

防災・減災、国土強靱化のための対策事業



河川に堆積した土砂を撤去

阿武隈川水系 広瀬川（伊達市）

【before】 対策前（令和5年7月）



【after】 対策後（令和6年3月）



掘削量
約5,740m³

対策
内容

河道に堆積した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。

安全
安心

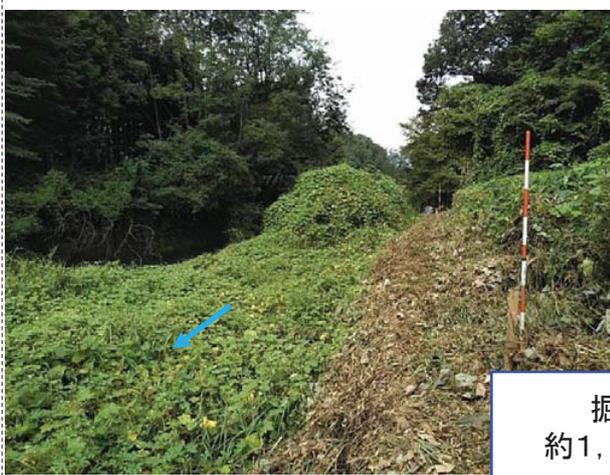
防災・減災、国土強靱化のための対策事業



河川に堆積した土砂を撤去

阿武隈川水系 油井川（二本松市）

【before】 対策前（令和5年8月）



【after】 対策後（令和6年1月）



掘削量
約1,270m³

対策
内容

河道に堆砂した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。

安全
安心

防災・減災、国土強靱化のための対策事業



河川に堆積した土砂を撤去

阿武隈川水系 逢瀬川（郡山市）

【before】 対策前（令和5年8月）



【after】 対策後（令和6年2月）



掘削量
約6,500m³

対策
内容

河道に堆砂した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。



河川に堆積した土砂を撤去

阿武隈川水系 牧野川（田村市）

【before】対策前（令和5年9月）



【after】対策後（令和5年12月）



掘削量
約4,710m³

対策
内容

河道に堆砂した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。



河川に堆積した土砂を撤去

阿武隈川水系 釈迦堂川（天栄村）

【before】対策前（令和5年8月）



【after】対策後（令和6年2月）



掘削量
約5,000m³

対策
内容

河道に堆砂した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。

安全
安心

防災・減災、国土強靱化のための対策事業



河川に堆積した土砂を撤去

阿武隈川水系 北須川（平田村）

【before】 対策前（令和5年9月）



【after】 対策後（令和5年11月）



掘削量
約3,100m³

対策
内容

河道に堆砂した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。

安全
安心

防災・減災、国土強靱化のための対策事業



河川に堆積した土砂を撤去

阿武隈川水系 外面川（白河市）

【before】 対策前（令和5年8月）



【after】 対策後（令和6年2月）



掘削量
約3,120m³

対策
内容

河道に堆砂した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。



河川に堆積した土砂を撤去

久慈川水系 久慈川（棚倉町）

【before】 対策前（令和5年7月）



【after】 対策後（令和6年2月）



掘削量
約14,710m³

対策
内容

河道に堆砂した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。



河川に堆積した土砂を撤去

阿賀野川水系 宮川（会津美里町）

【before】 対策前（令和5年7月）



【after】 対策後（令和6年3月）



掘削量
約12,560m³

対策
内容

河道に堆砂した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。

安全
安心

防災・減災、国土強靱化のための対策事業



河川に堆積した土砂を撤去

阿賀野川水系 見沢川（昭和村）

【before】 対策前（令和5年11月）



【after】 対策後（令和6年3月）



掘削量
約620m³

対策
内容

河道に堆砂した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。

安全
安心

防災・減災、国土強靱化のための対策事業



河川に堆積した土砂を撤去

阿賀野川水系 田付川（喜多方市）

【before】 対策前（令和5年7月）



【after】 対策後（令和6年3月）



掘削量
約4,730m³

対策
内容

河道に堆砂した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。また、河川の堤防を補強するため、堤防天端の舗装を行った。

安全
安心

防災・減災、国土強靱化のための対策事業



河川に堆積した土砂を撤去

伊南川水系 館岩川（南会津町）

【before】 対策前（令和5年6月）



【after】 対策後（令和6年3月）



掘削量
約5,940m³

対策
内容

河道に堆砂した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。

安全
安心

防災・減災、国土強靱化のための対策事業



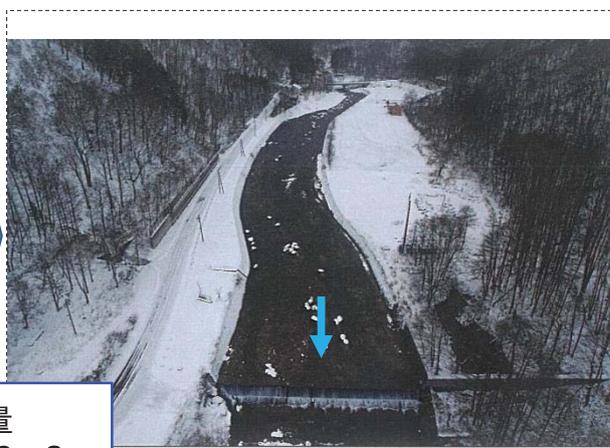
河川に堆積した土砂を撤去

伊南川水系 伊南川（桧枝岐村）

【before】 対策前（令和5年8月）



【after】 対策後（令和5年12月）



掘削量
約16,160m³

対策
内容

河道に堆砂した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。

安全
安心

防災・減災、国土強靱化のための対策事業



河川に堆積した土砂を撤去

新田川水系 新田川（南相馬市）

【before】 対策前（令和5年7月）



【after】 対策後（令和6年3月）



掘削量
約38,000m³

対策
内容

河道に堆積した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。

安全
安心

防災・減災、国土強靱化のための対策事業



河川に堆積した土砂を撤去

北迫川水系 北迫川（広野町）

【before】 対策前（令和5年5月）



【after】 対策後（令和6年3月）



掘削量
約2,600m³

対策
内容

河道に堆積した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。

安全
安心

防災・減災、国土強靱化のための対策事業



河川に堆積した土砂を撤去

藤原川水系 矢田川（いわき市）

【before】 対策前（令和5年9月）



【after】 対策後（令和6年3月）



掘削量
約1,020m³

対策
内容

河道に堆積した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。

安全
安心

防災・減災、国土強靱化のための対策事業



河川に堆積した土砂を撤去

鮫川水系 鮫川（いわき市）

【before】 対策前（令和5年6月）



【after】 対策後（令和6年3月）



掘削量
約26,270m³

対策
内容

河道に堆積した土砂の撤去や伐木、除草を行い、**河道断面を確保**することにより、洪水被害の発生リスクを低減させました。

生活
の質

街路整備により伊達市梁川町の 中心市街地の活性化に貢献



第36回全国街路事業コンクールにおいて、優秀賞を受賞！
(全国街路事業促進協議会主催)



都市計画道路 中央線外1線(伊達市)

【令和5年3月完成】

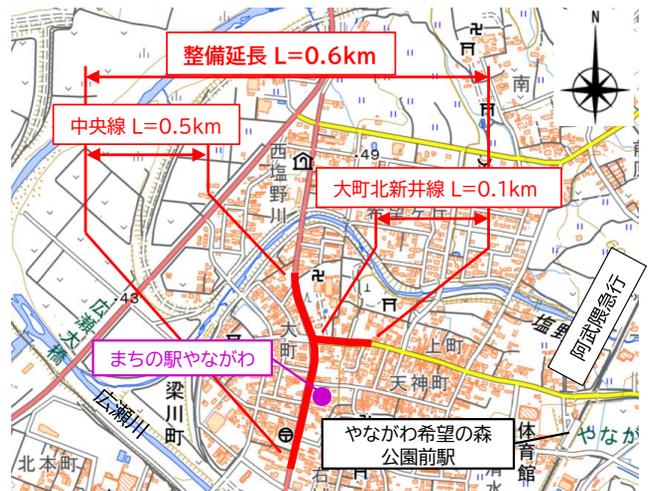
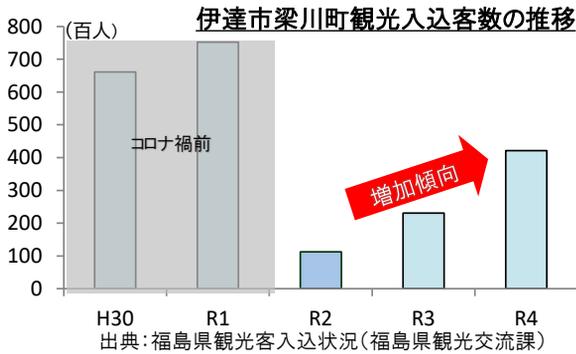
「まちの駅やながわ春まつり」の様子(R5.4.23)

【効果】伊達市梁川町中心市街地の賑わい創出

- 伊達市梁川町を訪れる観光入込客数は、R2にコロナ禍の影響を受け落ち込んだが、近年では増加傾向にある。
- 中央線の開通に伴い、新たなシンボルロードとしてイベント開催(まちの駅やながわ春まつり)に寄与。
- 今後も中心市街地の賑わい創出に寄与していく。

整備内容

- 無電柱化および道路拡幅により防災性の向上
- および安全で円滑な交通の確保



生活
の質

観光名所「花園しだれ桜」を 訪れる方々の安全と快適のために



花園さくらパーク(棚倉町)

【令和2年3月完成】

花園しだれ桜

【効果1】訪問者の安全と快適性を確保し、地域の賑わいづくりを支援

棚倉町の観光名所である「花園しだれ桜」は、かんがい用水のため池の土手にぽつんと植えられた推定樹齢160年を超える一本桜です。池に映る「逆さ桜」も見事で、桜のシーズンには県内外から多くの観光客やカメラマンが訪れますが、駐車スペースの不足や進入路など、**通行車両の安全確保**が課題となっていました。

そこで、**沿道の空地を活用**して、地域の皆様の意見を取り入れながら、16台分の公共駐車場や日よけになる四阿(あずまや)を配置した「花園さくらパーク」を整備し、**訪問者の安全と快適性を確保**しました。



PR動画に繋がるQRコード・音声ガイドもついた案内板



16台分の駐車場とあずま屋を配置



車両の安全な出入りのため進入路を整備



PR動画はこちらからご覧いただけます！
(棚倉土木事務所YouTubeチャンネル)

【効果2】地域と連携した「おもてなし」活動

これまでも棚倉町観光協会花園支部の皆さんが、仮設トイレの設置や交通整理、お茶出しなど、訪れる観光客などへ心温まるおもてなしと、周辺の美化活動を行ってきました。

この「花園さくらパーク」の完成を機に、棚倉町観光協会花園支部、棚倉町、福島県の三者で「うつくしまの道・サポート制度」に関する合意書を締結し、協力して周辺の美化活動等に取り組んでいます。

【棚倉町観光協会の方の声】

「駐車スペースがきれいになり、休憩所も整備されてよかったです。さくらパークの整備により、棚倉町を訪れる方々がより一層増えることを期待したい」



地域の皆さんが続けてきた
おもてなし活動



うつくしまの道・サポート制度
合意書締結式

生活の質

メインストリートの整備による
中心市街地の活性化に貢献

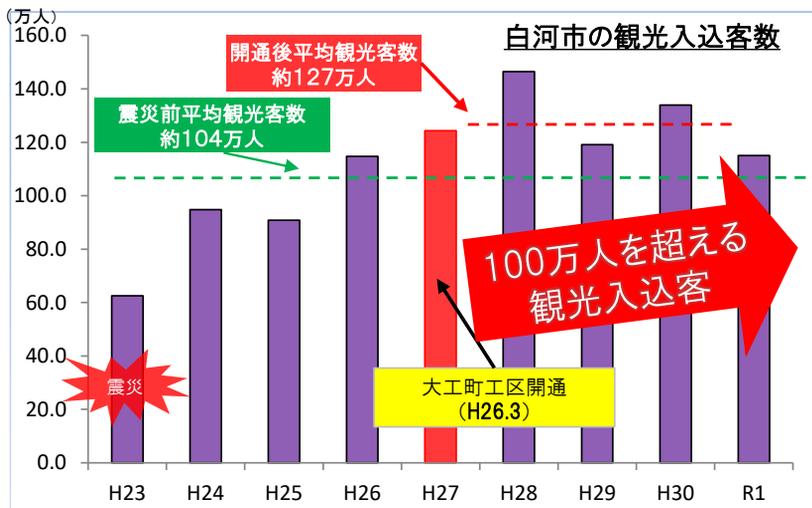


都市計画道路 白河駅白坂線(白河市)

【平成26年3月完成】

【効果】観光客の増加

- 白河市では、白河駅白坂線の開通に伴い、新たなシンボルロードとして各種イベントを開催。
- 白河市を訪れる観光入込客数は、街路整備後、震災前より約23万人が増加しました。
- 15年ぶりに復活した「白河関まつり」の会場になるなど、今後も地域活動の拠点として中心市街地に貢献することが期待されます。



しらかわキャラ市観光客数
約5.0万人(H30)→約7.2万人(R元)
出典：福島県観光客入込状況(福島県観光交流課)



生活
の質

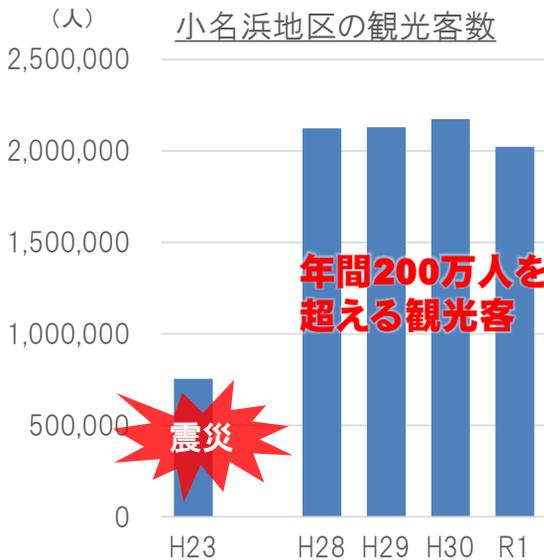
県内有数の観光地小名浜の さらなる活性化に貢献



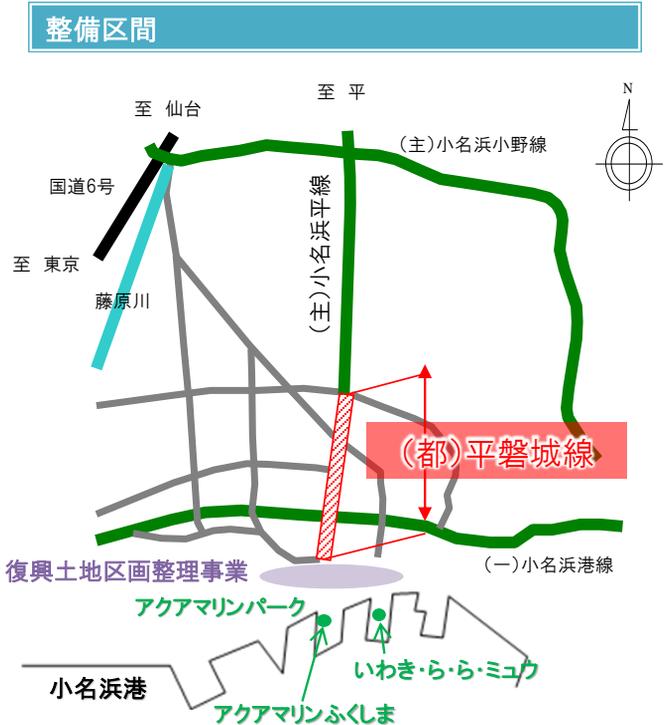
都市計画道路 平磐城線(いわき市) 【平成30年6月完成】

【効果】歩行者や交通の安心・安全を確保し、小名浜地区の観光振興を支える！

- 東日本大震災の影響で、一時大きく減少した小名浜地区の観光客数は、近年では200万人を超える県内有数の観光地に。無電柱化や車線数の増により、歩行者の安全確保や都市内交通の円滑化、防災スペース・避難路の確保に貢献しています。
- 本事業と並行して進められた市の復興土地区画整理事業では、区域内に大型商業施設が出店するなど、地域の賑わいを創出している。



出典：福島県観光客入込状況(福島県)
「アクアマリンふくしま」
及び「いわき・ら・ら・ミュウ」の集計値



生活
の質

“くらにわ”が地域の賑わいをつなぎ
蔵の街なみにゆとりとふくらみを創出！



蔵庭(ポケットパーク)整備(喜多方市) 【平成29年度完成】

【効果】蔵庭を活用したイベント開催など、喜多方中心市街地の活性化により観光客が増加傾向！

- ふれあい通りは、喜多方駅から喜多方市の中心部に向かって最も近い商店街であるとともに、人気のラーメン屋等が軒を連ねる入口ともなっていました。駅からの案内や休憩所がなく、いかにまちをつないでいくかが課題でした。
- そこで、観光客が街中を回遊しながら休憩できる休憩施設として「蔵庭(ポケットパーク)」を整備し、市の中心商業地である「ふれあい通り」の活性化を図りました。
- 地域住民の方が蔵庭に植栽するなど魅力的な空間を創出するとともに、蔵庭を使って様々なイベントを開催し観光客をもてなすなど、地域づくりの活性化と観光振興に貢献しています。

喜多方の風土を活かした蔵庭(ポケットパーク)を道路脇に整備



- 無散水消雪の歩車道整備と合わせて、これまで空き地だった土地に蔵庭を整備し、道路から見られる蔵と調和した景観を創っています。

生活
の質

ポケットパークのリニューアルによる 温泉街の魅力向上！



リニューアル前

芦ノ牧温泉ポケットパーク整備(会津若松市)

【効果1】20万人を超える有名観光地の玄関口の整備により、温泉街の魅力がアップ！

■ 足湯につかりながら、周囲の山々の景色を眺められる癒しの空間として、温泉街の新たなシンボルとなっています。特に、夜間はライトアップにより幻想的な空間を創り上げ、温泉街を訪れた観光客をもてなしています。



塔屋(ライトアップ)

足湯



【効果2】ポケットパークの整備をきっかけに、地元住民による地域づくりが活性化！

■ ポケットパークのリニューアルをきっかけに、地域住民の皆さんが季節の花々を植栽したり清掃を行うなど、温泉街における地域づくりが活性化しています。



地元による美化活動



生活
の質

道路工事で生まれた空気を 地域の交流スペースとして活用！



このモニュメントは、小川町を代表する詩人「草野心平」の作品の中に登場した、「モリアオガエル」をイメージし、小川中学校美術部の生徒の皆さんに令和2年度から令和3年度にかけてデザインを作成して頂きました。

県道小川赤井平線を通行する皆様、が、家に「無事、カエル」よう、小川郷駅から来た皆様を「狭くむカエル」よう、「この場所よりカエル」が見届けて参ります。

令和4年3月

小川地区ポケットパーク整備(いわき市) 【令和4年3月完成】

【効果】地区の玄関口となる駅前の賑わい創出と、震災避難者との交流の場を提供

かえるのモニュメントは地元の小川中学校美術部の皆さんがデザインしました！

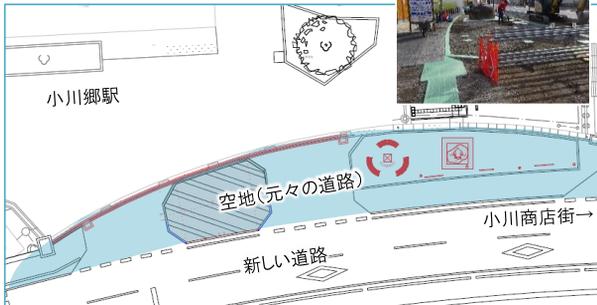
小川地区は、夏井川渓谷や背戸峨廊、二ツ箭山などの豊かな自然に囲まれ、詩人・草野心平の故郷としても有名です。

また、原子力災害による避難者のための復興公営住宅が整備され、地元から、地区の玄関口となる小川郷駅前の賑わいづくりや地域の交流場所の設置が望まれていました。

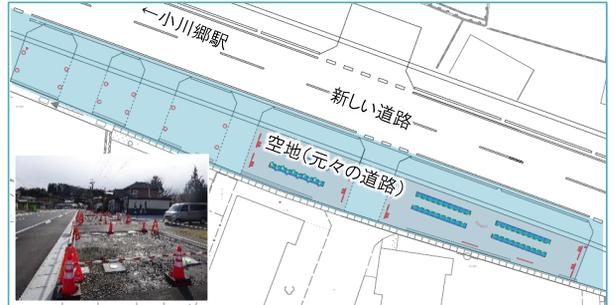
そこで、県道の改良工事で生まれた空気を活用して、地域の交流スペースとなるポケットパークを整備しました。



小川郷駅前エリア



小川商店街エリア



サークルベンチと
かえるのモニュメント



健康づくりも兼ねた交流スペース

ベンチとしても使える車止め

生活
の質

健康増進や癒し、 豊かな暮らしを提供します！



県内外から多くの来園者のある
イテヨウの黄葉とライトアップ。



特にファミリー層のレクリエーション
の場として親しまれているせせら
ぎ・桜の広場。

あづま総合運動公園(福島市)

【効果】みんなが集える場所として、健康増進や癒しを提供



あづま香りのバラ園まつり

◀あづま総合
運動公園に綺
麗なバラが咲
いていたので
写真に撮っ
てみました。(40
代女性)



あづま夕焼けパークマラソン

◀大好きな大会
のひとつです！
(50代男性)



歩こう秋のふくしまあづまの郷ウオーク

- 子供と行きましたが、中々良い場所です。散歩、ジョギングも最適です。家族でランチもいいです。(男性)
- いつ来ても管理が行き届いていて気持ち良いです 子供たちの声もたくさん聞こえます。(女性)
- とても良い施設だと思います。子どもも大人も楽しめてすばらしいと思います。(30代女性)
- 整備が行き届いた球場です こんなところでプレー出来る選手達は うらやましすぎる(男性)

オリンピックレガシーの継承～各種展示物やイベントの実施～



県営あづま球場



東京2020大会メモリアルコーナー



記念碑

令和3年7月に東京2020オリンピックの、ソフトボールと野球が県営あづま球場で開催されました。



県内各地

【効果】 二酸化炭素の排出量を削減しながら、施設利用者の快適性・生産性を向上

○福島県ZEBガイドライン

2050年カーボンニュートラルを実現するためには、建築分野におけるエネルギー消費量や温室効果ガス排出量を削減し、建築物のZEB化を促進することが重要です。

このため、ZEB化に係る目標水準や必要となる技術等をまとめた標記ガイドラインを策定(R4.10)、改定(R6.4)し、県有建築物のZEB化に取り組んでいます。

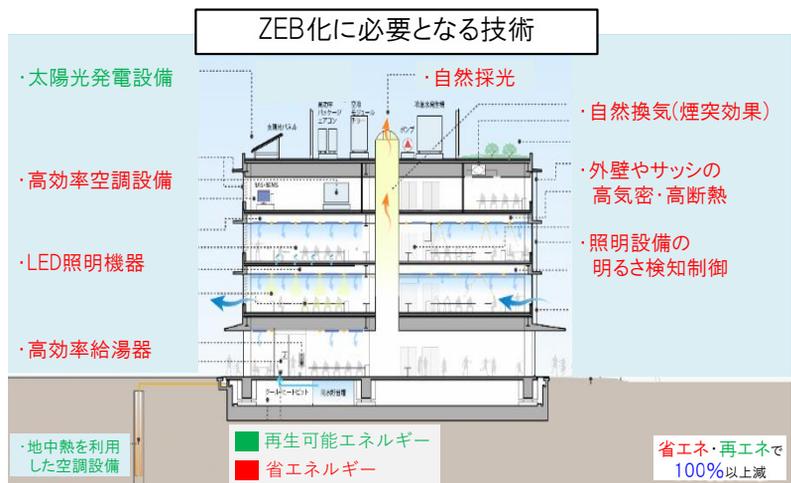
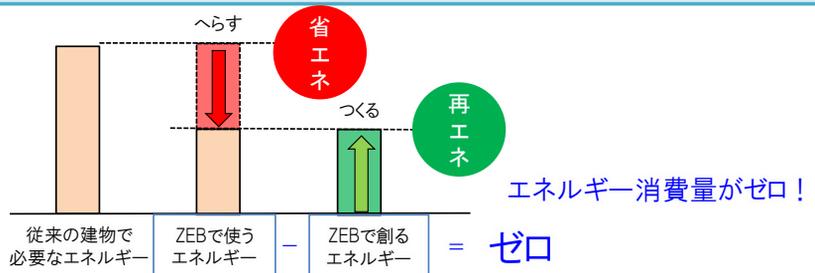
※ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)とは、室内環境の質を維持しつつ、大幅な省エネルギー化と再生可能エネルギーの導入により、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロにすることを旨とする建築物です



ガイドラインにおける
ZEB化の目標水準

ZEB Ready 以上

※ZEB Ready とは、『ZEB』を見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物のことです



ZEB化した県有建築物



須賀川土木事務所(R2.3)



県農業総合センター
農業短期大学校寮棟(R7.1)

太陽光発電設備



地中熱利用空調設備



【効果】 二酸化炭素の排出量を削減しながら、施設利用者の快適性・生産性を向上

○ふくしま木造化・木質化建築ガイドライン

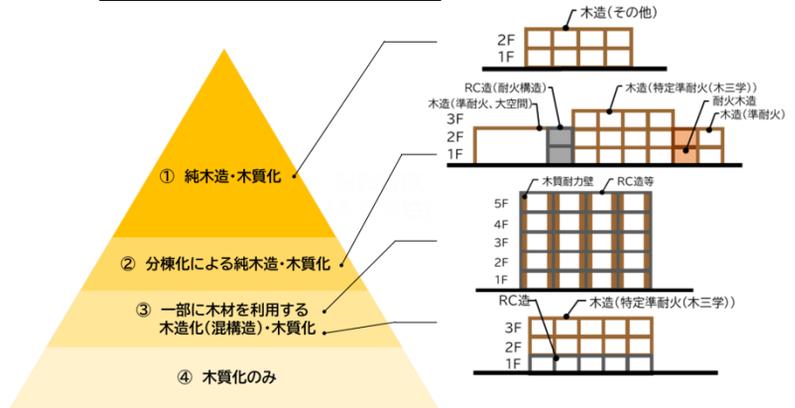
2050年カーボンニュートラルを実現するためには、建築分野における木材利用を促進し、木を伐って、使って、植えて、育てるという森林資源の循環利用に繋げることが重要です。

このため、県有建築物の基本構想等の策定段階において、木造化・木質化に係るコスト面、技術面及び性能面での考え方や検討項目をまとめた標記ガイドラインを策定(R6.5)し、中大規模県有建築物の木造化・木質化に取り組んでいます。

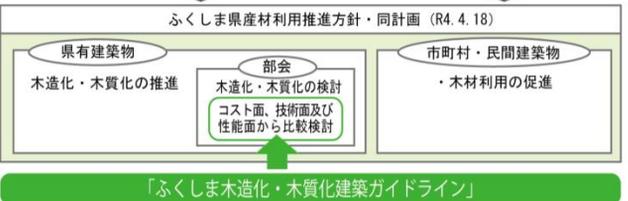
※ 木造は、RC造の建築物に比べて建築物の資材調達から解体・廃棄段階でのCO₂排出量が少ないことから、脱炭素社会への貢献が期待できます。



木造化・木質化の考え方



脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律 (R3. 10. 1 施行) 建築物における木材の利用の促進に関する基本方針 (R3. 10. 1 決定)



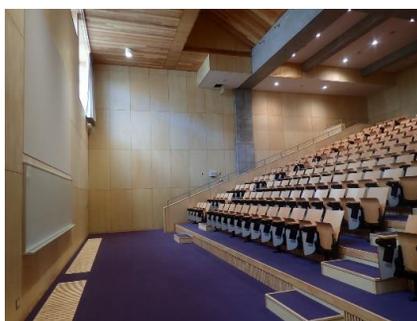
木造とRC造の資材調達等におけるCO₂排出量比較 単位:t-CO₂

	500m ²		1,000m ²		1,500m ²		2,000m ²		2,500m ²		3,000m ²	
	木造	RC造	木造	RC造	木造	RC造	木造	RC造	木造	RC造	木造	RC造
3階建て	69	341	137	683	206	1,024	275	1,365	344	1,706	412	2,048
2階建て	96	538	191	892	287	1,337	330	1,586	413	1,983	496	2,379
1階建て	144	538	288	1,076	432	1,613	576	2,151	720	2,689	864	3,227

木造化・木質化した県有建築物



県農業総合センター
農業短期大学校寮棟(R7.1)



県立安積中学校(R7.1)



白河実業高等学校
建築科実習棟(R7.1)

避難地域への住民帰還の支援

災害公営住宅、福島再生賃貸住宅の県代行整備

(双葉町、大熊町)



【効果】住民の帰還や新規移住を促進し、町の活性化に寄与



JR双葉駅

双葉町駅西地区全景



路地を中心に住棟を配置



入居者の交流を生む
軒下空間



玄関の土間空間

双葉町駅西住宅では、入居者同士のコミュニティを醸成するため、住棟の間に路地を効果的に配置するとともに、交差する箇所には、人々が集い交流できる軒下空間を設けています。

各住戸には、趣味の場として活用できる土間空間を設けるなど、入居者が生き生きと暮らせる工夫を施しています。

最終工区が令和6年5月に完成し、6月に全86戸の入居が始まり、駅西地区のにぎわい創出に寄与しています。



大熊町大川原地区全景



住棟に囲まれた井戸端広場



自然環境と調和したデザイン

大熊町大川原災害公営住宅では、入居者同士の交流を促進するために歩行者通路や井戸端広場を設けました。

また、県内の高校生が県木材協同組合連合会の協力を得て製作・設置したコミュニティベンチを随所に配置したことで、コミュニティ形成のきっかけとなり、入居者の交流促進に寄与しています。

また、令和5年度には、大熊町の中心部である下野上地区において新たに福島再生賃貸住宅を50戸整備し、令和6年4月に入居が始まりました。

入居者同士の
交流が生まれていま
す。



生活
の質

民間活力を活用した既存ダムの水力発電により環境負荷を低減！！



四時ダム(いわき市)

四時ダム発電所

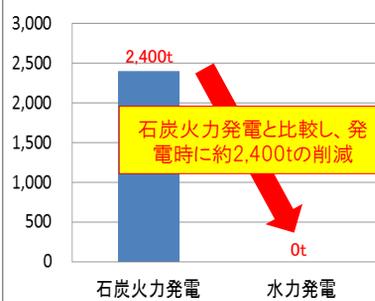
【効果】水力発電により環境負荷(二酸化炭素排出量)を軽減するとともに、ダム管理費を削減

■ESCO事業で水力発電所を整備したことにより、二酸化炭素を排出することなく年間約2,750,000kWh発電することができます。

石炭火力発電で発電する場合と比べて、**2400t程度の二酸化炭素排出量を削減**することが可能となり、環境負荷の軽減に寄与します。

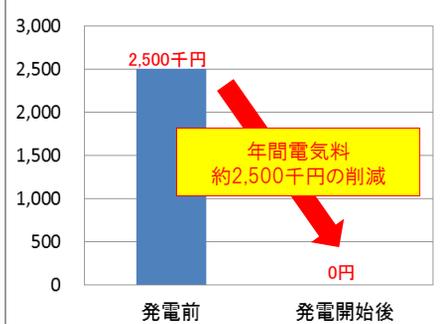
■また、この事業によりダム管理に必要な**電気料の削減**や、契約終了後は水力発電設備が無償譲渡されることにより**売電収入**が得られるなどの効果も期待されます。

2,750,000kWh発電する際に排出される二酸化炭素量



発電 1 kWh 当り二酸化炭素排出量
石炭火力発電: 886.8 g-CO₂/kWh
水力発電: 0.0 g-CO₂/kWh

(千円) 四時ダム管理所年間電気料



四時ダム発電所(全景)



発電所内 横軸フランシス水車



生活の質

原子力災害による避難者の生活の安定とコミュニティの形成を支援



勿来酒井団地(いわき市)

【平成30年2月完成】

木造(戸建)平屋、2階建	72戸
RC造(集合)3~4階建て	3棟77戸
木造(長屋)平屋	2棟10戸

【効果】住民の生活を支える施設+伝統行事の実施=団地のコミュニティの形成

診療所や高齢者サポート施設など、住民の日常生活を支える施設を整備するとともに、双葉町の伝統行事であるダルマ市を開催可能な中央広場を設け、団地内でダルマ市を実施しました。入居者の方から「新たな交流が生まれた」との喜びの声があり、コミュニティの形成に寄与することができました。

診療所・高齢者サポート施設を整備



診療所



高齢者サポート施設

双葉ダルマ市の実施



町内にいた時のダルマ市を思い出して懐かしい気持ちになったよ。

知っている人が多い場所だとほっとするわ。



住民の声

地域の方々との交流もできて嬉しいね。



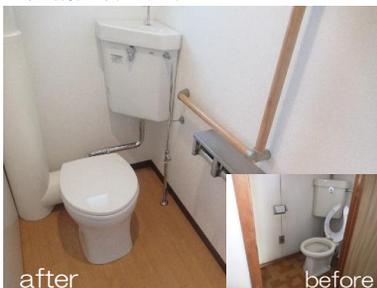
内部改善事業は、築35年以上経過した住棟を対象に、基本性能の不足や住戸内の各部位の劣化に対して行う改善手法(居住性向上、福祉対応、長寿命化)です。

県営住宅内部改善事業

【効果】バリアフリー化や水回りのリフォームにより、入居者の生活の質が向上

【内部改善の主な内容】

- ・バリアフリー化
(段差解消、手すり設置等)
- ・給湯設備、ユニットバスの設置
- ・設備配管の更新



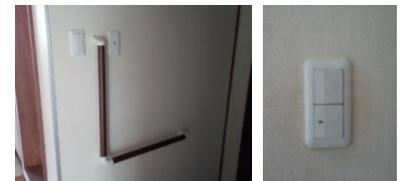
①トイレの段差解消・便器更新・手すり設置



□ リフォーム範囲



②浴室へユニットバス(シャワー付き混合水栓付き)
・手すり設置



④玄関へ手すり設置

共通(スイッチの
代化)



③洗面所へキャビネット型洗面化粧台設置(シングルバ-混合水栓付き)



⑤台所の水栓更新(シングルバ-混合水栓付き)

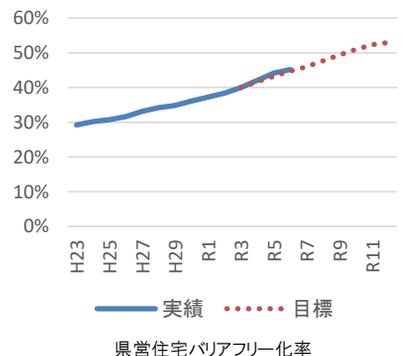
床の段差が解消されて
つまづく心配がなくなりました。

浴室、洗面所、台所で
お湯が使えて快適
です！

浴室やトイレに
手すりが付いて
安心です！



入居者の声



②③⑤浴室・洗面所・台所へ
給湯配管設置



共通(照明のLED化)